

令和5年度

鳥取県建設技術センタープラザ棟屋上等外部改修工事

■ 図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A- 1/15	特記仕様書 1	—	A- 11/15	屋外階段詳細図	1 : 50
A- 2/15	特記仕様書 2	—	A- 12/15	部分詳細図	1 : 30
A- 3/15	特記仕様書 3	—	A- 13/15	屋上平面詳細図 上部梁伏図 (調査図)	1 : 100
A- 4/15	配置図 外構図 敷地案内図 工事概要 仮設図 (参考)	1 : 400 1 : 100	A- 14/15	屋上展開図 1 (調査図)	1 : 60
A- 5/15	外部仕上表 2階平面図	1 : 150	A- 15/15	屋上展開図 2 (調査図)	1 : 60
A- 6/15	屋上平面図兼平面詳細図 上部梁伏図	1 : 100			
A- 7/15	立面図	1 : 150			
A- 8/15	ホーチ屋上平面詳細図 部分詳細図	1 : 50 1 : 20			
A- 9/15	屋上展開図 1	1 : 60			
A- 10/15	屋上展開図 2	1 : 60			

 やくら設計

建築改修工事仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 倉吉市福庭町2丁目
2. 敷地面積 8,169 m²
3. 地域地区 都市計画地域(内・外) 市街化調整区域(内・外)
用途地域(第1種中高層住居専用地域、第1種住居専用地域)
防火地域(指定なし)

4. 建物概要

Table with columns: 番号, 名称, 工事種別, 構造, 階数, 建築面積(m²), 延べ面積(m²). Row 1: 1, プラザ棟, 改修, RC造, 4階, 403.93, 1,112.72

II. 建築改修工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁審判部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」以下、「改修標準仕様書」という。
(2) 請負者は、建築基準法に基づく完了検査(中間検査含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意する。
(3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
2. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
(3) 項目に記載[]の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 図印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」以下「グリーン購入法」という。の特定調達品目を示す。
(5) 関係法令(条例を含む)の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議を行うものとする。
(6) 材料及び製造所等の記載は順不同である。

7 材料の品質等 [1. 4. 2]

3) ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の①又は②に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド放散建築材料
② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項(資材(材料及び機材を含む)の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負担軽減に配慮されていること。)に留意する
材料・機材等の品質及び性能
1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し)を監督職員に提出して承認を受けなければならない。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されている。
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われている。
③ 安定的な供給が可能である。
④ 法令等で定められた許可、認可、認定又は免許を取得している。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられている。
5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料

Table with columns: 床型枠用鋼製デッキプレート, 現場発泡断熱材, 鉄骨柱下無収縮レール, フリークセソフロア, 無収縮グラウト材, 可動間仕切り, 乾式保護材, 移動間仕切り, 既設合モルタル, トイレブース, ルーフドレン, 煙突用成形ライニング材, 吸水調整材, 天井点検口, 錠前類, 床点検口, クローザ類, グレーチング, 自動扉機構, 屋上緑化システム, 閉鎖式上吊り引戸機構, トップライト, 重量シャッター, ポリマーセメントモルタル, 軽量シャッター, 既設合目地材, オーバーヘッドドア, 鋼鉄製ふた, 防水剤, 既設箇

8 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手(先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う旨と資料()
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクロノライト、アモサイト、アンソフライト、クリソタイル、クロシドライト、トシモライト
分析方法
材料名 分析方法(定性) 分析方法(定量)
JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4
・ 箇所
・ 箇所
・ 箇所
・ 箇所
・ 箇所
・ 箇所
材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと
サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示

9 施工数量調査 [1. 6. 2]

調査範囲 ※外壁(庇、笠木共) ・ 屋根 ・ 図示
調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・ 図示
外壁調査は、外壁改修フロアに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。
屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。
また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する(必要に応じて写真等を添付する。)

10 調査のための破壊部分の補修 [1. 6. 3]

補修方法 ※ 図示
下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う
(技能士：職業能力開発促進法による一般技能士又は単一等級の資格を有する者)
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札(下図参考)を常時着用する

Table with columns: 工事種目, 技能検定職種, 技能検定作業. Rows include: 防水改修工事, 外壁改修工事, 建築改修工事, 内装改修工事, 表装, 左官, タイル張り

12 化学物質の濃度測定 [1. 7. 9]

1) 測定対象室のホルムアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。
2) ハッシュ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。
① 30分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。
② 5時間閉鎖
①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。
③ 測定
イ ②の状態のまま測定する。
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数1回とし、複数回の測定は不要とする。
④ 分析
測定対象化学物質を採取したハッシュ型採取機器を分析機に送付し、濃度を分析する。
⑤ その他
監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。
下記のものを監督職員に提出する。
区分 分類・規格 撮影箇所 部数 備考
※ 工事記録写真 カラーサービス判 各工種の工程毎 1部
※ 完成写真 カラーサービス判
・ 内部 箇所 2部
・ 外部 4箇所 2部
・ カラーキャビネット
・ 内部 箇所 2部
・ 外部 箇所 2部
・ 半切 箇所
・ 全紙 箇所
・ パネル カラー
・ 四切 箇所 2部
・ 電子データ又はネガの提出 [工事記録写真] (・ 要 ○ 不要)
・ 電子データ又はネガの提出 [完成写真] (○ 要 ・ 不要)

13 完成写真

Table with columns: 区分, 分類・規格, 撮影箇所, 部数, 備考. Rows include: 工事記録写真, 完成写真, カラーキャビネット, パネル, カラー, 電子データ又はネガの提出

14 完成時の提出図書 [1. 9. 1, 2]

下記のものを監督職員に提出する
※ 原因A1版又はA2版 (設計図の第2原因訂正不可) 1部
※ CADデータ 1式
※ 原因の大型コピー(白紙)の2つ折製本 2部
※ 縮小版2つ折製本(A4版) 2部
※ 複写 縮小版A3ハラ焼 部
完成図の種類及び内容(改修前後の状態が分かるように整備する)
・ 案内図・配置図：配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む
・ 改修概要図：改修概要、部位等を表示する
・ 平面図：室名、耐震壁(防火壁)、避難施設等を表示する
・ 立面図：外壁上、補修範囲等を表示する
・ 断面図：階高、天井高等を表示する
・ 仕上表：屋外、屋内(各階)の仕上表を表示する
・ 構造図：杭、構造躯体等を表示する
○ その他：(設計図に準ずる)
・ 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける

15 設備工事との取り合い

Table with columns: 設備工事との取り合い, 建築, 電気, 機械. Rows include: コンクリート壁、床、梁貫通部, 鉄骨造の開口及び補強, 照明器具・幹線等の吊りボルト, 軽量鉄骨製のボックス取付用下地, 埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠, オフロア・フリークセソフロアの切込み及び補強, 埋込型機器取付用の天井, 壁の切込加工、下地の補強, 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアベンジ, 電気室、自家発電室などの基礎及びピット(蓋を含む), テレピンアンテナ, 基礎, アンカーボルト, 屋内・屋外設置, 屋上設備

16 撤去部分

コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。
ダイヤモンドカッター切り深さ(※30mm程度)
適用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
基準風速 V0 = 30 m/s
地表面粗度区分 I ・ II ○ III ・ IV
積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表(33)

18 保全に関する資料 [1. 9. 3]

下記のものをA4版ファイルに製本して監督職員に提出する。
○ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
・ 機器性能試験成績書及び取扱説明書
・ 保証書
・ 官公署届出書類(保守に必要とするもの)
・ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書
19 火災保険等
工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。(保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで(概ね工期+2日)とする。)

20 環境配慮

鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ・ 非対象工事

21 建設リサイクル法

※ 対象工事 ・ 非対象工事

22 鳥取県福祉のまちづくり条例

※ 対象工事 ・ 非対象工事

23 景観形成条例

※ 対象工事 ・ 非対象工事

24 建築物省エネ法

※ 対象工事 ・ 非対象工事

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策 [2. 1. 3]
騒音・粉じんの対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート
防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲
・ 工事に必要な範囲
2 足場その他 [2. 2. 1]
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用方式により行う。
外部足場 ○設置する(範囲 ※工事に必要な範囲 ・) ・ 設置しない
防音シート ○設置する(範囲 ※工事に必要な範囲 ・) ・ 設置しない
内部足場 ・ 設置する(※図示、足場板等 ・) ・ 設置しない
材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
C種：利用可能なエレベーター()
D種：利用可能な階段()
3 既存部分の養生 [2. 3. 1]
養生方法等
○ 既存部分の養生方法 ※ビニルシート、合板等による
・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等
・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニルシート等(取外し再取付けを行う)
保管場所 ※構内既存施設内
・ 固定された家具等(備品、机、ロッカー等)の移動 ※行う(図示)
・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

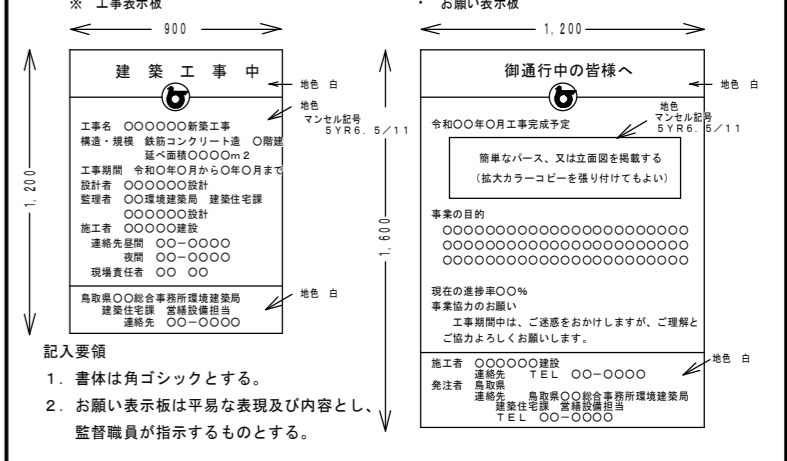
4 仮設間仕切り [2. 3. 2]

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示
仮設間仕切りの種別と材質等
・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示
A、B種の仕上げ材 ※石こうボード(GB-R 厚さ9.5mm) ・ 合板(普通合板 厚さ9mm)
A、B種の片面への塗装等 ・ 行う ※行わない
A種のガラスウールの充填材
※ 行う(JIS A 6301ガラスウール吸音材2号32K 厚50mm)
・ 行わない
仮設扉の種別 ※木製(合板張り程度) ・ 図示

5 監督職員事務所 [2. 4. 1]

※ 設ける m程度 ○ 設けない
現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。
・ 既存建物内の一帯を使用する(場所)
・ 構内に新設する 規模(m)

6 表示板



7 工事用水

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

8 工事用電力

構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

9 工事用仮設物

構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる

10 工事現場のイメージアップ

記入要領
1. 書体は角ゴシックとする。
2. お馴染み表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

3 防水改修工事

1 降雨時に対する養生方法 [3. 1. 3]
※改修標準仕様書3.1.3(5)~(9)による。
○ 防水処置(※=屋根は除く)
2 既存防水層の処理 [3. 1. 4]
既存防水層の撤去 ○ 行う(範囲 ○ 図示 ・) ・ 行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う(・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M401 ・ L4X)
・ 行わない
改修用ドレン
○ 設ける(・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX)
・ 設けない

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. Rows include: 1 一般共通事項, 2 官公庁その他への手続, 3 電気保安技術者, 4 工事安全計画書, 5 発生材の処理等, 6 環境への配慮

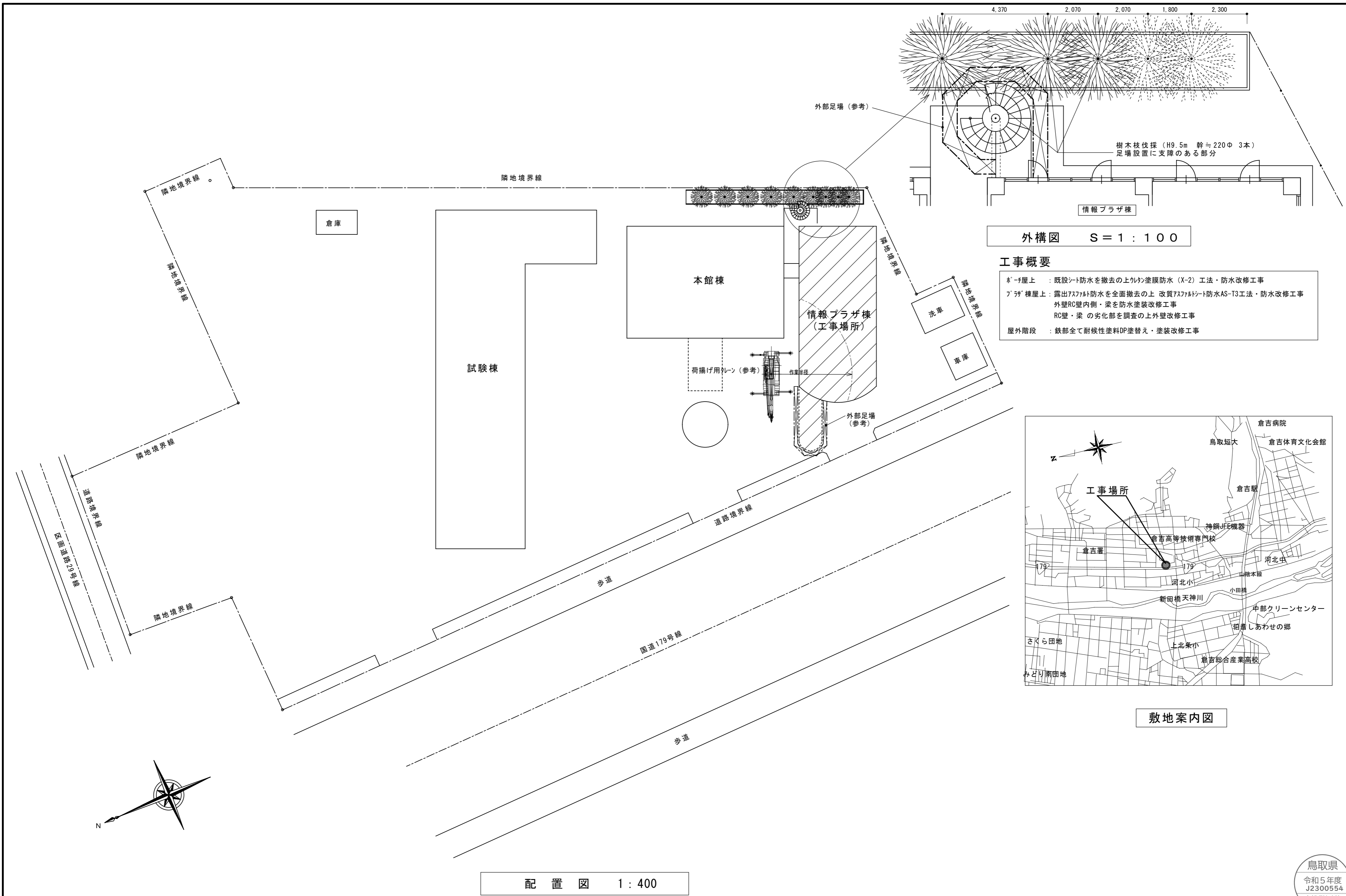
<p>③ 防水改修工事</p> <p>4 アスファルト防水 [3.3.2~5] [表3.3.3~10]</p>	<p>既存下地の処理 [3.2.6]</p> <p>既存下地の補修及び処置 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 POS工法及びPOSI工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※改修標準仕様書3.2.6(4) (イ) (ロ) ①~③による ※改修標準仕様書3.2.6(4) (イ) (ロ) ①~③による 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり、丸境の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理 ※図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する。</p>	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.7による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による 脱気装置の種類 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p>	<p>・POD1 ・MSD1 ※D1-2 ・MAD1</p> <p>JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発砲73%7断熱材 ※硬質ウレタン断熱材2種1号又は2号 厚さ ※ 25mm ・ 50mm</p> <p>※製造所の仕様</p> <p>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</p>	<p>・POSI ・S1-F1 ・S4S1 ・MASI</p> <p>(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(c) (3) (ロ)による (厚さ) ・ 25mm</p> <p>※製造所の仕様</p> <p>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</p>	<p>既存立木等の撤去 (行う (範囲) ※図示 ・ 再使用) ・行わない 下地補修の工法 ※図示 ・行わない 板材折曲げ部の立木の取付方法 ※図示 ・行わない 立木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p>																																																																																																																																																																																	
	<p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 [G]</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td></td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/m程度</td> <td>・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え ※JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ※B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2A1</td> <td>・A1-1 ※A1-2 ・A1-3</td> <td></td> <td>(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム 断熱材3種bA (スキン等付き) 厚さ ※25mm ・ 50mm</td> <td>※フラットヤーンクロス (70g/m程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1B1</td> <td>・B1-1 ※B1-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.5及び表3.3.6による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.4による 平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水上 60mm以上 ・乾式保護材 業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したものの 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th> <th>業系パネルⅡ類 (一般地仕様)</th> <th>金属複合板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寸法 (mm)</td> <td>厚さ (mm)</td> <td>幅 (mm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td>厚さ：+10%、-5%、幅：±1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td>出荷時において10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm) (h>400mm)</td> <td>標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上 (試験サイクル数) (300)</td> <td>450以上 320以上 (200)</td> <td>300以上 250以上 (300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率 (%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率 (%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍結融解性能</td> <td>曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td>質量500g (業系パネルⅠ類は1,000g) のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部点に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。</td> <td>質量500gのおもりを高さ1.0mから試験体の弱部点に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。</td> <td>残留変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下</td> </tr> <tr> <td>剛性 (E×I)</td> <td>スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性</td> <td></td> <td>80,000N・cm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験方法 1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法をJIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンペックスルール又は、JIS B 7516「金属製直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全面に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える前の平均速度は1~3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。 5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の縦線間隔が140mmになるように縦線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて縦線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立し、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/m程度	・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え ※JIS R 1250	・P1B	・B-1 ※B-2					・P2A1	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3		(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム 断熱材3種bA (スキン等付き) 厚さ ※25mm ・ 50mm	※フラットヤーンクロス (70g/m程度)		・P1B1	・B1-1 ※B1-2					分類・規格	業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	業系パネルⅡ類 (一般地仕様)	金属複合板	寸法 (mm)	厚さ (mm)	幅 (mm)		寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%			出荷時の含水率	出荷時において10%以下			曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm) (h>400mm)	標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上 (試験サイクル数) (300)	450以上 320以上 (200)	300以上 250以上 (300)	吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下	難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍結融解性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと			耐衝撃性能	質量500g (業系パネルⅠ類は1,000g) のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部点に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのおもりを高さ1.0mから試験体の弱部点に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	残留変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下	剛性 (E×I)	スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性		80,000N・cm以上	<p>改質アスファルトシート [3.4.2.3] [表3.4.1~3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材 [G]</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率 防水の適用 [G]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・MA4S</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・M3AS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POAS</td> <td>・AS-J3 ・AS-J4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3ASI</td> <td>・ASI-T1 ・ASI-J1</td> <td></td> <td>JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発砲プラスチック断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 脱気装置の種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 押え金物 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁断熱工法の防水シート ・設置する ・設置しない</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用 [G]	備考	種類	使用量	・MA4S	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2						※製造所の仕様	・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1						脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POAS	・AS-J3 ・AS-J4						脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発砲プラスチック断熱材				脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	<p>⑦ 塗膜防水 [3.6.2.3] [表3.6.1~3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率 防水の適用 [G]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POX</td> <td>※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td>※X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P1Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用 [G]	備考	種類	使用量	・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H					脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・L4X	※X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H					脱気装置 ・設ける ・設けない	・P1Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない	<p>⑧ シーリング [3.7.2~8] [表3.7.1]</p> <p>シーリング改修工法の種類 ・シーリング充てん工法 ・シーリング充てん工法 ・拡幅シーリング充てん工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドグレーカー張り ・エッジング材張り</p> <p>適用する ・適用しない</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率 防水の適用 [G]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用 [G]	備考	種類	使用量	・P1Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない	<p>④ 1 外壁改修工事 (共通事項)</p> <p>① 可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4]</p> <p>品質性能等 比重：表示値±0.10、押出し性：60秒以下 スランプ：3mm以下、加熱減量：5%以下 引張強さ： 常温物性1.0N/mm²以上、低温物性1.0N/mm²以上、加熱劣化1.0N/mm²以上 伸び：常温物性30%以上、低温物性30%以上、加熱劣化30%以上 引張接着性 最大引張力：常温物性1.0N/mm²以上 破断時の伸び：常温物性10%以上 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を浸す、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温・常湿 (温度5~35℃、湿度45~85%) において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。</p> <p>試験方法 イ) 試験室の状態：温度23±2℃、湿度50±5%を標準状態とする。 ロ) 試験体個数：3個 ハ) 試験体の作り方：標準状態で試験室に保管した主剤及び硬化剤を、適切な容器に製造所のできる割合で混合し3分間十分に混練する。 ニ) 基準：JIS A 1439「建築用シーリング材の試験方法」の5.11 ホ) 押出し性：JIS A 143905.14 (試験用カートリッジによる押出し試験) ヘ) スランプ：JIS A 143905.1 (試験用カートリッジによる押出し試験) ト) 加熱減量及び試験 1. 試験器具 (1) 時計皿：2枚 (直径75mm) (2) 恒温器：JIS K 6257「加温ゴム及び熱可塑性ゴム-熱老化特性の求め方」の4.3試験方法の表1に規定する促進老化試験機A法 (0A-2強制循環形熱老化試験機 (横風式) (キヤ-式老化試験機ともいう。)) 又はこれに準じた装置。 (3) はかり：質量200g、感量1mg 2. 試験方法 (1) 2枚の時計皿の質量(M0)を測定。 (2) 一方の時計皿に試料を直径約60mm、厚さ約2mmになるように塗りつけ、残りの時計皿でふたをして、直ちにその質量(M1)を測定。 (3) ふたを取り除いて、標準状態で14日間静置。 (4) 80±3℃に調節した恒温器中で33時間(14日間)加熱。 (5) 加熱後、恒温器から取り出し、標準状態で14時間静置し、再び残りの時計皿でふたをして、その質量(M2)を測定。 3. 加熱減量は、次の式によって計算し、平均値とする。 $L = \frac{M1 - M2}{M1 - M0} \times 100$ L：加熱減量 (%) M0：2枚の時計皿の質量 (mg) M1：加熱前の試料と2枚の時計皿の質量 (mg) M2：加熱後の試料と2枚の時計皿の質量 (mg) チ) 引張強さ：JIS K 6251「加温ゴム及び熱可塑性ゴム-引張特性の求め方」に準ずる1号ダンベルを用い、引張速度は200mm/minとする。 リ) 伸び：JIS K 6251に準ずる。1号ダンベルを用い、引張速度は200mm/minとする。 ス) 引張接着性：JIS A 1439の5.20 ル) 標準状態で試験：試験体を標準状態で14日間養生後、引張強さ、伸び、引張接着性を測定。 ロ) 低温での試験：試験体を標準状態で14日間養生後、0±3℃に調節した恒温室に16時間保存後、恒温室内にて引張強さ、伸びを測定。 ワ) 加熱劣化試験：試験体を標準状態で14日間養生後、80±3℃に調節した恒温器内に14日間放置後、標準状態に戻して引張強さ、伸びを測定。</p>	<p>② ポリマーセメントモルタル [4.2.4]</p> <p>品質性能等 だれ 下がり量：5mm以内、表面状態：ひび割れの発生がないこと 曲げ強さ：6.0N/mm²以上、圧縮強さ：20.0N/mm²以上 接着性 標準時：1.0N/mm²以上、産時時：0.8N/mm²以上、低温時0.5N/mm²以上 透水性：裏面ぬれ、水滴の付着がないこと 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルジョンは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質がないこと。</p>
工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																																																																																																	
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/m程度	・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え ※JIS R 1250																																																																																																																																																																																	
・P1B	・B-1 ※B-2																																																																																																																																																																																					
・P2A1	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3		(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム 断熱材3種bA (スキン等付き) 厚さ ※25mm ・ 50mm	※フラットヤーンクロス (70g/m程度)																																																																																																																																																																																		
・P1B1	・B1-1 ※B1-2																																																																																																																																																																																					
分類・規格	業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	業系パネルⅡ類 (一般地仕様)	金属複合板																																																																																																																																																																																			
寸法 (mm)	厚さ (mm)	幅 (mm)																																																																																																																																																																																				
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%																																																																																																																																																																																					
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																																																																																																																																																					
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm) (h>400mm)	標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上 (試験サイクル数) (300)	450以上 320以上 (200)	300以上 250以上 (300)																																																																																																																																																																																			
吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下																																																																																																																																																																																			
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																																																																																																																																																			
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																																																																																																																			
耐凍結融解性能	曲げ強さ、モーメント凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																																																																																																																																																					
耐衝撃性能	質量500g (業系パネルⅠ類は1,000g) のおもりを高さ1.0mから試験体の弱部点に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのおもりを高さ1.0mから試験体の弱部点に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	残留変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下																																																																																																																																																																																			
剛性 (E×I)	スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性		80,000N・cm以上																																																																																																																																																																																			
工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用 [G]	備考																																																																																																																																																																															
				種類	使用量																																																																																																																																																																																	
・MA4S	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2						※製造所の仕様																																																																																																																																																																															
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1						脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																															
・POAS	・AS-J3 ・AS-J4						脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																															
・M3ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発砲プラスチック断熱材				脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																															
工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用 [G]	備考																																																																																																																																																																																
			種類	使用量																																																																																																																																																																																		
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H					脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																
・L4X	※X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H					脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																
・P1Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																
・P2Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																
工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用 [G]	備考																																																																																																																																																																																
			種類	使用量																																																																																																																																																																																		
・P1Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																
・P2Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																
<p>工事項目 鳥取県建設技術センタープラザ棟屋上等外部改修工事</p> <p>図面名 特記仕様書 2</p> <p>縮尺 1/10</p> <p>日付 R5.10</p> <p>鳥取県米子市大崎932-2 TEL 0859-25-1127 FAX 0859-25-1142</p> <p>一級建築士事務所知事登録 第03-327号 一級建築士大臣登録 第112596号 矢倉 通宏</p> <p>CHECK 矢倉 DRAWING 矢倉 図面番号 A-2/15</p>	<p>鳥取県 令和5年度 J2300554 中部環境建築局</p>																																																																																																																																																																																					

④ 1 外壁改修工事(共通事項)	4	エポキシ樹脂モルタル [4. 2. 4.]	品質性能等 接着強さ: 1.0N/mm ² 以上 圧縮強さ: 20.0N/mm ² 以上 曲げ強さ: 3日後の値 10N/mm ² 以上 1) くて強さが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。 5) 常温・常湿(温度5~35℃、湿度45~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 試験方法 イ) 試験室の状態: 温度23±2℃、湿度50±5%を標準状態とする。 ロ) 試験体個数: 3個 ハ) 試料の調整: 標準状態で試験室に保管した主剤及び硬化剤を製造所定める割合で採取し、十分に攪拌する。 ニ) 外観: ハ)の試料を清浄なガラス板に均一に塗布し、均質性と異物の混入の有無を観察。 ホ) 圧縮強さ: JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.4により試験体を作成し、10.1(4)に規定する試験機で10.5により測定し、10.6により求める。 ヘ) 曲げ強さ: JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.4に準じ試験体を作成する。 ト) 10.5)に規定する試験機により、支点間100mmとし、供試体を成形したときの側面の中央に毎秒50 Nの割合で載荷し最大荷重(P)を求め、P×0.00234=σのb式で求める。 チ) 比重: 引張試験体の寸法と重量を測定して求める。 リ) 接着強さ: JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面を清浄し、その上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張りを加える。最大荷重(P)を断面積(A)で除して求める。 ニ) だれ試験: JIS A 5371の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面を清浄して、その上に厚さ30mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にエポキシ樹脂モルタルを塗布し、塗付け開始から5分後に、平らに置かれた平板を直角に立て起し、そのままの状態を有する。24時間後のエポキシ樹脂モルタルの変形状態を観測し、その形状の異常の有無とだれ長さを測定する。
	5	ポリマーセメントスラリー [4. 2. 4.]	品質性能等 注入試験: 圧がり速さ3cm/分以下、粘弾係数0.5~1.0 保水試験: 保水係数0.35~0.55 長さ変化試験: 長さ変化率3%以下(乾燥) 引張接着強さ: 0.5N/mm ² 以上(28日材齢) 吸水率: 15%以下(72時間) 劣化曲げ強さ: 5.0N/mm ² 以上
	6	吸水調整材 [4. 3. 5.]	改修標準仕様書表4.3.2による
	7	既製適合モルタル [4. 3. 5.]	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、繊維材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質性能等 保水率: 70%以上 単位容積質量: 1.8kg/L以上 接着強さ: 標準時 0.6N/mm ² 以上、温冷繰り返し後 0.4N/mm ² 以上 長さ変化率: 0.2%以下 曲げ強さ: 4.0N/mm ² 以上 試験方法 イ) 試料の調整 製造業者の定める、正味質量と標準練りより量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 ロ) 保水率 JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定するみがきガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リングを置く(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、イ)で調整した試料を平滑に詰込む。 その後、直ちにリングを上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング状の内径 mm ハ) 単位容積質量 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 二) 標準時の接着強さ 1. 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を底板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちにイ)で調整した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1種(施ゆう)「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上げ材」の7.9接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm ² 以上) 2. 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を底板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちにイ)で調整した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1種(施ゆう)「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 ホ) 温冷繰り返し後の接着強さ (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々ニ)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰り返し試験)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上げ材」の7.10温冷繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±2℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰り返し、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べ。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm ² 以上) ヘ) 長さ変化率 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 ト) 曲げ強さ JIS A 6916「建築用下地調整塗料」7.11曲げ強さ試験に準ずる。

④ 2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)	①	ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4.] [4. 2. 4~7.]	※樹脂注入工法 工法の種類 ※A 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※B 手動式エポキシ樹脂注入工法 ※C 機械式エポキシ樹脂注入工法 ※D 機械式エポキシ樹脂注入工法
	②	欠損部改修工法 [4. 1. 4.] [4. 2. 4. 8.]	※充填工法 欠損部充填材 ※ポリマーセメントモルタル・エポキシ樹脂モルタル
	③	1 浮き部改修工法 [4. 1. 4.] [4. 3. 11~16.]	※モルタルを撤去しないで改修 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンニングの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの ・モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 ※現場調合材料・既調合材料 ・充填工法・エポキシ樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 既製目地材・使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示
	④	外壁複合改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする。
④ 5 外壁改修工事(塗仕上げ外壁)	①	既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 [4. 5. 4.]	工法 ・サンダー工法 ・高圧水洗工法 ・吐出圧力 ・塗膜はく離剤工法 ・水洗い工法
	②	下地調整材 [4. 5. 2.]	※下地調整塗料・ポリマーセメントモルタル
	③	仕上げ塗料の種類 [4. 5. 2.] [表4. 5. 1.]	建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上げ塗料の種類 ・薄付け仕上げ塗料 表4. 2. 3~4 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 ・薄付け仕上げ塗料 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り材 防火材料 ・複層仕上げ塗料 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 溶媒 ※水系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり
	④	マスチック塗料塗り [4. 1. 5.] [4. 6. 2.] [表4. 6. 1.]	種類・A種・B種

5	外壁用塗膜防水材塗り [4. 1. 5.] [4. 7. 2, 3.] [表4. 7. 1.]	仕上げの形状 工法 仕上げ塗料の耐水性・耐熱性2種・耐熱性3種 下地劣化緩衝材・適用する・適用しない 模様材の種類 仕上げ塗料の種類
	外壁改修フロー及び数量 ・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合 既存仕上げ材の除去・全面 ※図示 外壁調査(施工数量調査) ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修 シーリング改修 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 充填工法 樹脂接着剤塗布工法(改修標準仕様書表4.3.3b) シール工法 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 充填工法 樹脂接着剤塗布工法(改修標準仕様書表4.3.3b) シール工法	
	・モルタル塗り仕上げ外壁の場合 既存仕上げ材の除去・全面 ※図示 外壁調査(施工数量調査) ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修 シーリング改修 モルタル塗替え・しない・する アンカーピンニング注入工法・注入口付 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 充填工法 モルタル塗替え工法 部分エポキシ樹脂 全面エポキシ樹脂 全面ポリマーセメントスラリー シーリング再充填工法	
	・タイル張り仕上げ外壁の場合 外壁調査(施工数量調査) ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修 目地改修 シーリング改修 タイル除去・剥がし アンカーピンニング注入工法・注入口付 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分 タイル接着 (工法表) 目地ひび割れ改修 目地接着 シーリング再充填工法	
7	1 材料 [7. 1. 3.]	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除く防火材料とする()
	2 下地調整 [7. 2. 1~7.]	塗替え種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す 下地調整、素地ごしらえ 下地調整の種類 塗替え 新規 下地調整の種類 素地ごしらえの種類 鉄鋼面 鉄鋼面(DP) 垂れめつき面 モルタル面、せつこうプラスチック面 コンクリート面、ALCパネル面(DP以外) コンクリート面、押出成形セメント板(DP) せつこうボード面、その他ボード面
	3 錆止め塗料塗り [7. 4. 2, 3.]	錆止め塗料塗りの種類 塗料の種類 工程の種類 鉄鋼面 SOP EP-G DP 垂れめつき面 SOP EP-G
	4	ひび割れ部の補修 ひび割れ部改修 欠損部改修 浮き部改修 目地改修 シーリング改修 タイル除去・剥がし アンカーピンニング注入工法・注入口付 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分 タイル接着 (工法表) 目地ひび割れ改修 目地接着 シーリング再充填工法

4	仕上げ塗料塗り [7. 5. 2~7. 12. 2.]	塗装の種類 塗装面 塗替え 新規 ・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種類 ※1種・2種 ・クリアラッカー塗り(C/L) ・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り(NAD) ・耐水性塗料塗り(DP) 上塗り等級 ①1級 ②2級 ③3級 ・つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・ステイン塗り ・木材保護塗料塗り(WP) つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスチック面、せつこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしめ止め ※改修標準仕様書表9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・高反射塗料塗り[G] 下地調整(改修標準仕様書表7.2.2)・RA種 ※RB種・RC種 工程 規格番号 規格名称 種類 等級 塗料塗りの仕様による JIS K 5675 屋根用高反射反射率塗料 2種 1級・2級・3級
	クリアラッカー塗りA種の工程2着色 ・適用しない ・適用する(着色剤: 溶剤系着色剤・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色 ・適用しない ・適用する(着色剤: 溶剤系着色剤・油性染料着色剤) オイルステイン塗りの工程等	
	鳥取県 令和5年度 J2300554 中部環境建築局	
	鳥取県建設技術センタープラザ棟屋上等外部改修工事 特記仕様書3	



外構図 S = 1 : 100

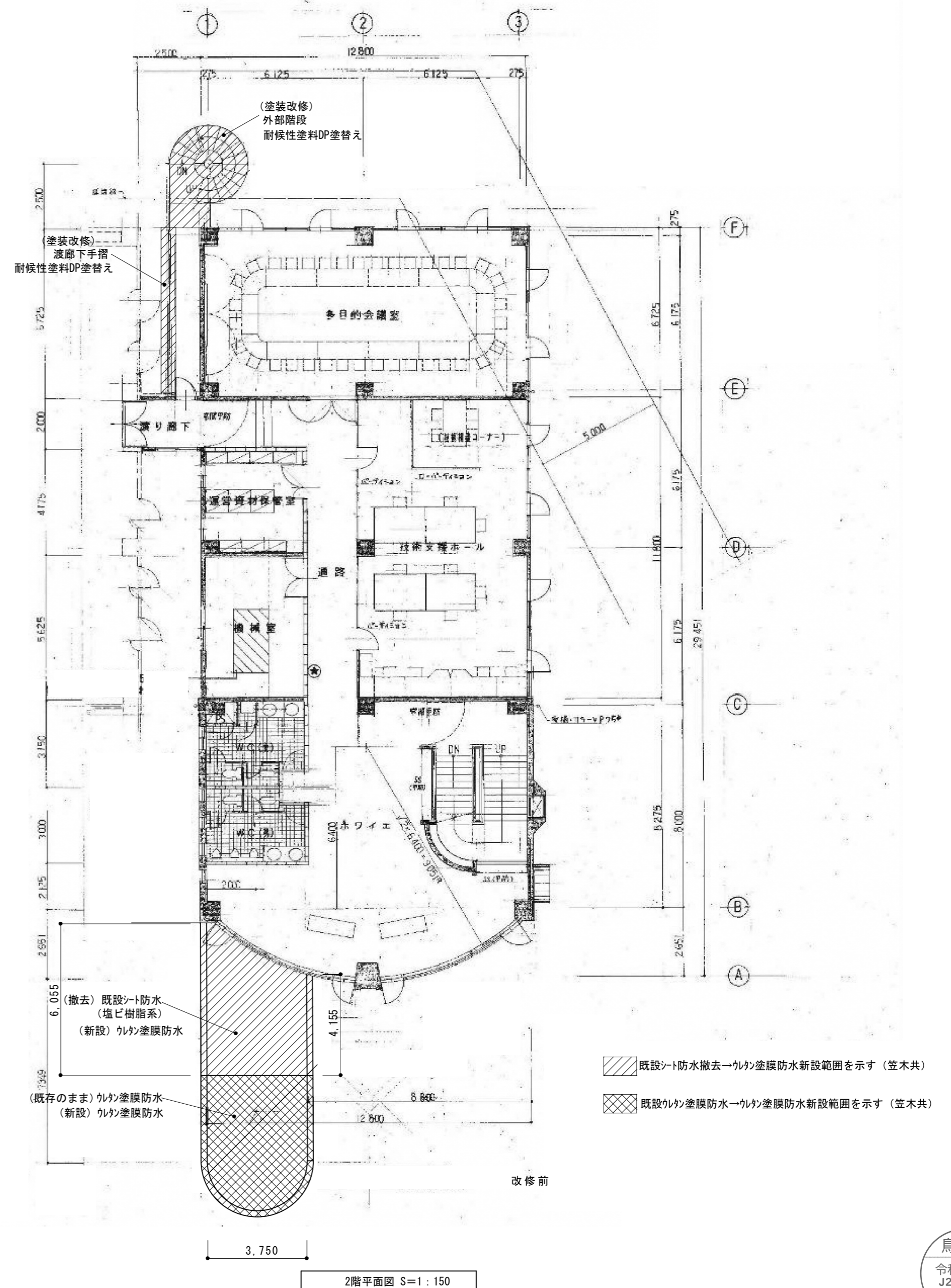
- 工事概要**
- ホーチ屋上 : 既設シート防水を撤去の上ウレタン塗膜防水(X-2)工法・防水改修工事
 - プラザ棟屋上 : 露出アスファルト防水を全面撤去の上 改質アスファルトシート防水AS-T3工法・防水改修工事
 - 外壁RC壁内側・梁を防水塗装改修工事
 - RC壁・梁の劣化部を調査の上外壁改修工事
 - 屋外階段 : 鉄部全て耐候性塗料DP塗替え・塗装改修工事

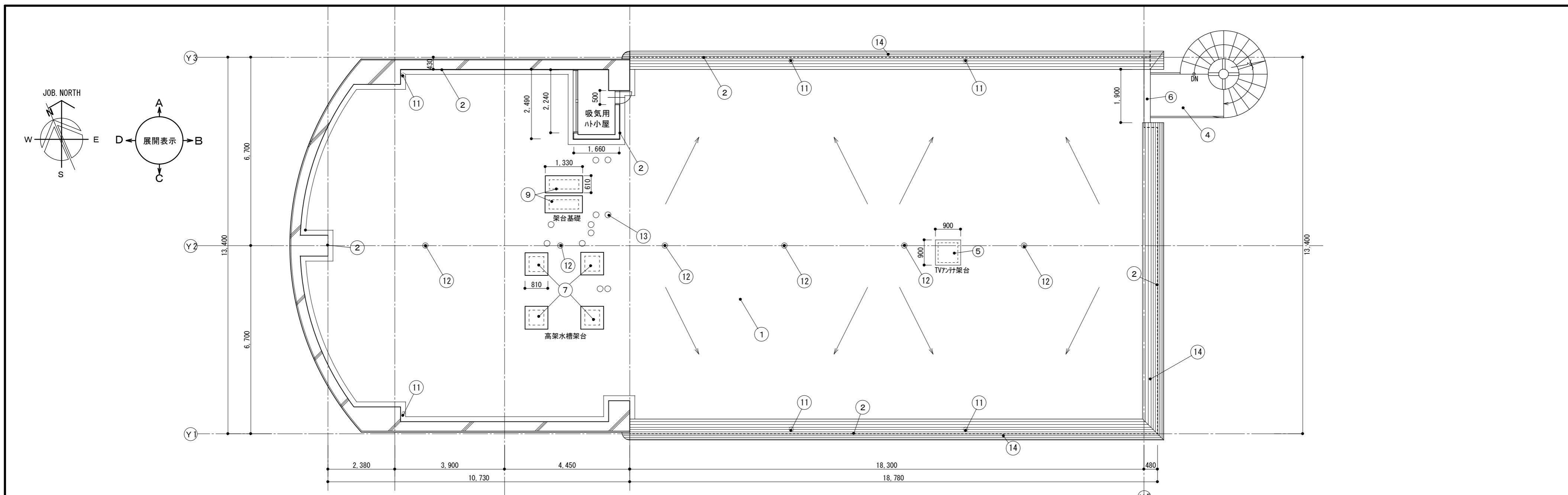


敷地案内図

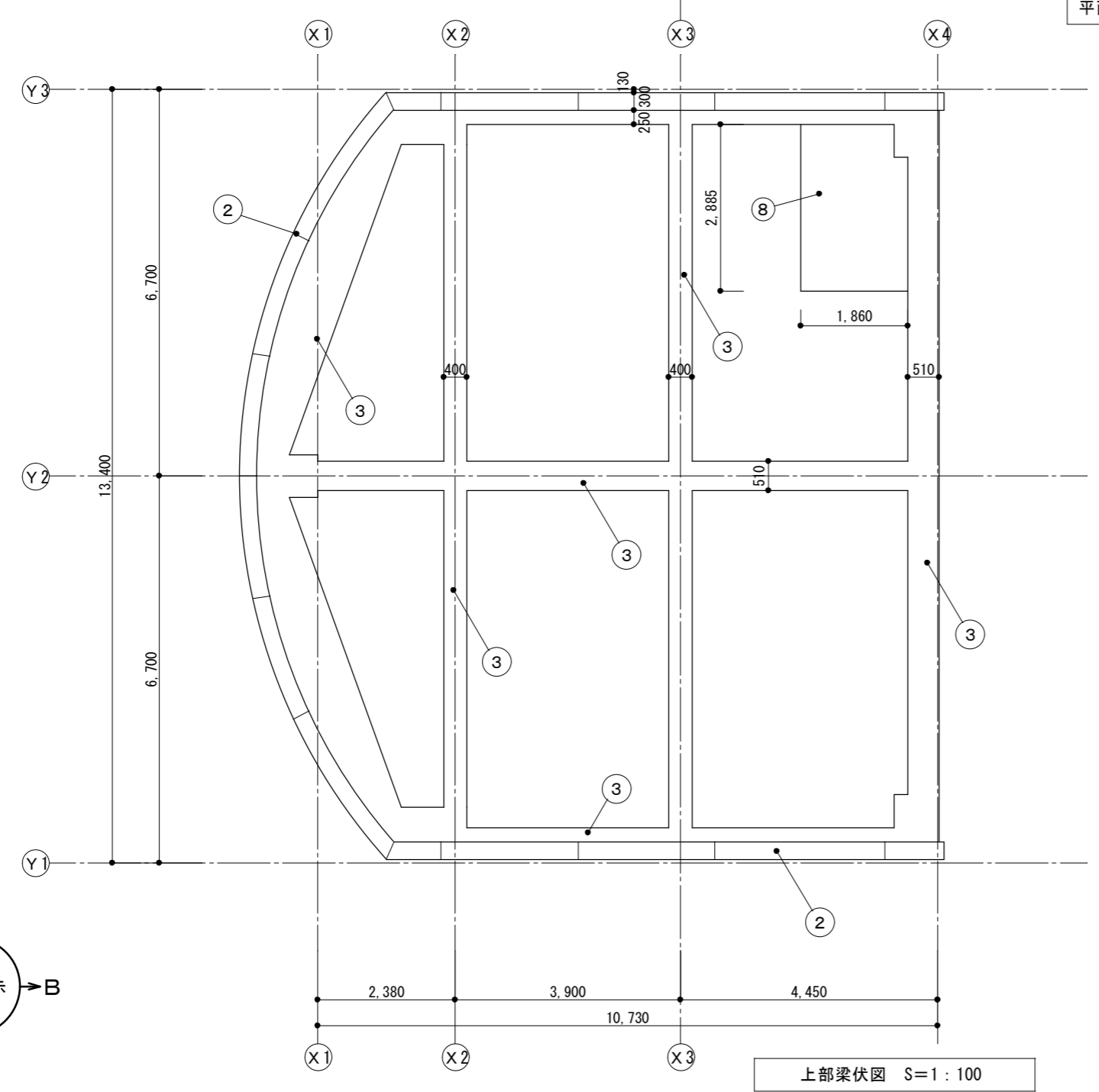
配置図 1 : 400

外部仕上表			
屋上	既存	露出7スワルト防水 (C-1) 工法仕様	
	改修	既設防水層 平部・立上り全面撤去後 ケレン清掃 仮防水処理後 下地調整材塗布の上 改質7スワルト防水 (AS-T3工法) 新設	
	特記	屋外階段屋上取合 カラー7スワルト (既製品) W1900 一時撤去の上再取付 ルーフトン 縦引75φ 6箇所 既存のまま	
ボーチ 屋上	既存	ウレタン塗膜防水 (X-2) 工法・シート防水 (塩ビ樹脂系)	
	改修	既設ウレタン塗膜防水の一部・シート防水撤去後 水洗い 下地調整の上 ウレタン塗膜防水 (X-2工法) 新設 既設ウレタン塗膜防水 水洗いの上 ウレタン塗膜防水 (X-2) 工法新設 立上りシリング (ホリウレタン系) W30×D10打替え	
	特記	既設シート防水押えステンレス板W55撤去 ウレタン塗膜防水は既設シート防水重複部 W250部分をカッター切の上撤去とする 外壁フッ素樹脂塗装ステンレス外装材との取合部シリング (ホリウレタン系) 打替えW15×D10	
パラペット	既存	外側：銅板 0.4t 横葺 内側：合板型枠コンクリート打放し 塗装仕上	
	改修	外側：銅板 0.4t 横葺 既存のまま 内側：高圧水洗浄 下地調整の上 防水形複層塗材RE吹付 JIS A 6909	
	特記	壁劣化部改修	
ボーチ パラペット	既存	フッ素樹脂塗装ステンレス外装材 (笠木共) 既存のまま	
	改修	笠木：水洗いの上ウレタン塗膜防水 (X-2) 工法新設	
	特記		
外壁	既存	外側：フッ素樹脂塗装ステンレス外装材1.5t (ロックール成形板12t裏打ち) 合板型枠コンクリート打放しの上吹付タイル仕上 (E) 内側：合板型枠コンクリート打放し 面台 防水モルタル金鍍押え	
	改修	外側：既存のまま 内側：合板型枠コンクリート打放し 高圧水洗浄 下地調整の上 防水形複層塗材RE吹付 JIS A 6909 内側：面台 防水モルタル金鍍押え 高圧水洗浄 下地調整の上 ウレタン塗膜防水 (X-2) 工法	
	特記	フッ素樹脂塗装ステンレス外装材 一部シリング (ホリウレタン系) 打替え 目地部W20×D10 内側RC壁取合部W10×D10 面台RC壁取合部シリング (ホリウレタン系) 打替え W40×D10 壁劣化部改修	
梁	既存	合板型枠コンクリート打放し 上部防水モルタル金鍍押え	
	改修	既設合板型枠コンクリート打放し 高圧水洗浄 下地調整の上 防水形複層塗材RE吹付 JIS A 6906 上部防水モルタル金鍍押え 高圧水洗浄 下地調整の上 ウレタン塗膜防水 (X-2) 工法	
	特記	梁劣化部改修	
吸気用 小室	既存	合板型枠コンクリート打放し 上部防水モルタル金鍍押え	
	改修	既設合板型枠コンクリート打放し 高圧水洗浄 下地調整の上 防水形複層塗材RE吹付 JIS A 6906 上部防水モルタル金鍍押え 高圧水洗浄 下地調整の上 ウレタン塗膜防水 (X-2) 工法	
	特記	7スワルト開戸 W500×H1000 建具廻りシリング (シリコン系) 打替えW20×D10 7スワルト開戸 W2240×H1080 建具廻りシリング (シリコン系) 打替えW15×D10 壁劣化部改修	
架台	既存	立上り：露出7スワルト防水 (C-1) 工法仕様 上部：防水モルタル金鍍押え	
	改修	立上り：既設防水層全て撤去の上 水洗い 下地調整 仮防水層処置の上 改質7スワルト防水AT-S3工法 上部：防水モルタル金鍍押え 高圧水洗浄 下地調整の上 ウレタン塗膜防水 (X-2) 工法	
	特記	TVアンテナ架台 上部900角 1箇所 高架水糟架台 上部810角 4箇所 架台 上部 610×1330 2カ所 架台劣化部改修	
屋外階段	既存	鉄骨造 垂鉛メッキ処理 FP塗り	
	改修	鉄部全て 下地調整RB種 錆止め塗料B種の上 耐候性塗料DP塗り	
	特記		



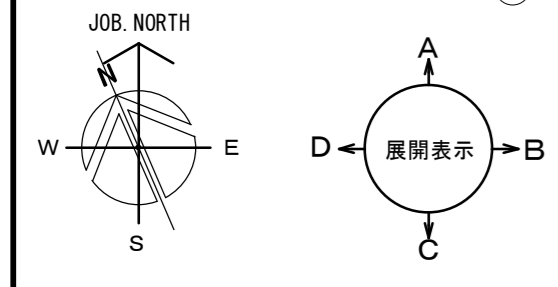


平面図兼平面詳細図 S=1:100



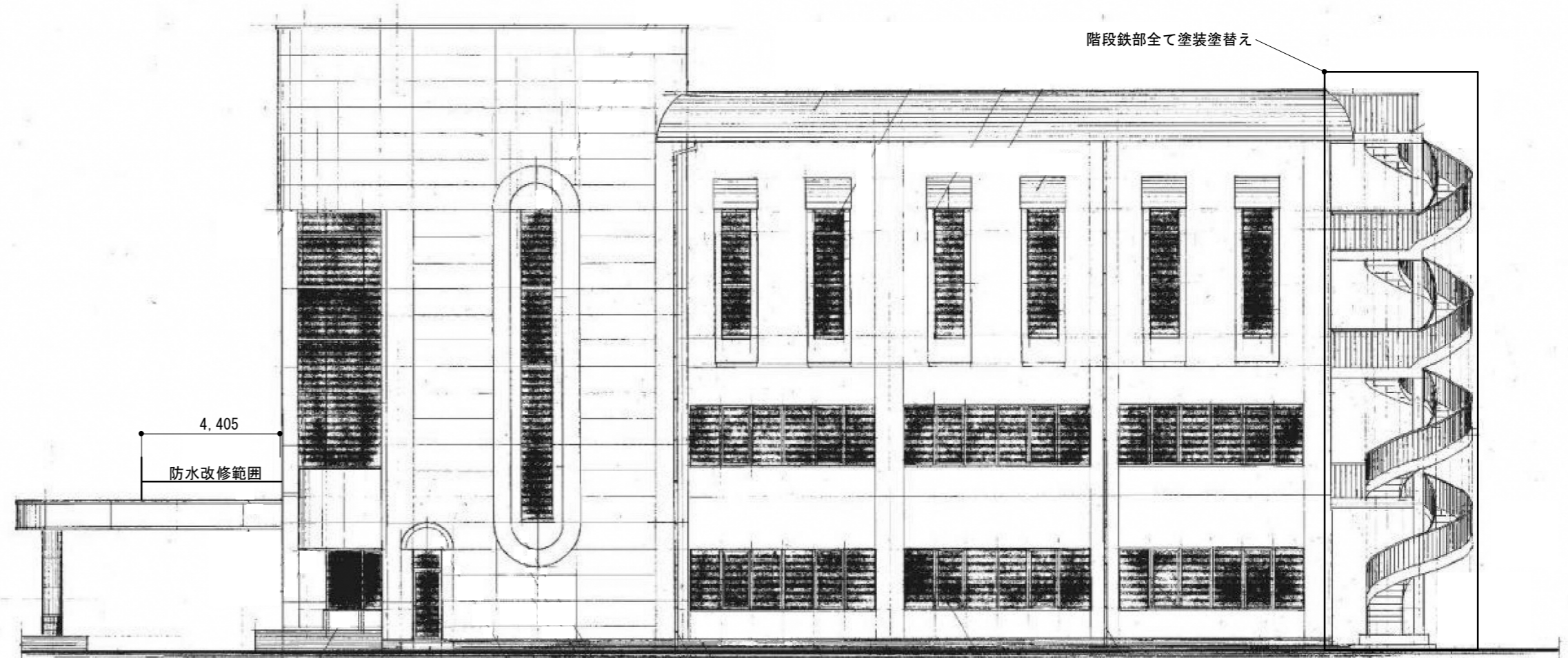
上部梁伏図 S=1:100

改修前 仕上符号	改修後 仕上符号	改修前 仕上符号	改修後 仕上符号
① (撤去) 屋上床 平部 777777露出防水C-1仕様 防水層全て撤去	① (新設) 屋上床平部 珪藻土防水処理後 下地調整の上 改質777777シート防水 AS-T3仕様	⑥ (一時撤去) 777777製並木 (777777-) 撤去保管	⑥ (再取付) 777777製並木 (777777-) 保管品復旧
② (撤去) 屋上床 立上り 777777露出防水C-1仕様 防水層全て撤去	② (新設) 屋上床平部 珪藻土防水処理後 下地調整の上 改質777777シート防水 AS-T3仕様	⑦ (既存のまま) 高架水槽架台上部 防水777777金鍍押え	⑦ (防水改修) 高架水槽架台上部 防水777777金鍍押え 高圧水洗浄 下地処理後 珪藻土防水X-2工法
③ (既存のまま) 梁・RC壁上部 防水777777金鍍押え	③ (防水改修) 梁・RC壁上部 防水777777金鍍押え 高圧水洗浄 下地処理後 珪藻土防水X-2工法	⑧ (既存のまま) 小小屋屋根 防水777777金鍍押え	⑧ (防水改修) 小小屋屋根 防水777777金鍍押え 高圧水洗浄 下地処理後 珪藻土防水X-2工法
④ (既存のまま) 屋外階段 鉄骨造 亜鉛メッキ処理 FP塗り	④ (塗装改修) 屋外階段鉄骨全て 下地調整の上珪藻土防水DP塗り	⑨ (既存のまま) 架台上部 防水777777金鍍押え	⑨ (防水改修) 架台上部 防水777777金鍍押え 高圧水洗浄 下地処理後 珪藻土防水X-2工法
⑤ (既存のまま) TV777777架台上部 防水777777金鍍押え	⑤ (防水改修) TV777777架台上部 防水777777金鍍押え 高圧水洗浄 下地処理後 珪藻土防水X-2工法	⑩ (既存のまま) 外壁上部 777777樹脂777777外装材1.5t (撤去) 目地777777 W20×D10撤去 15箇所	⑩ (防水改修) 外壁上部 777777樹脂777777外装材1.5t (撤去) 目地777777 W20×D10 15箇所
⑪ (撤去) 777777 100φ 6箇所	⑪ (新設) 改修用777777 100φ 6箇所		
⑫ -	⑫ (新設) 屋上床平部 脱気筒 6箇所		
⑬ (既存のまま) 配管基礎コナリ180φ 10箇所	⑬ (既存のまま) 配管基礎コナリ180φ 10箇所		
⑭ (既存のまま) 777777 鋼板0.4t 横葺	⑭ (既存のまま) 777777 鋼板0.4t 横葺		

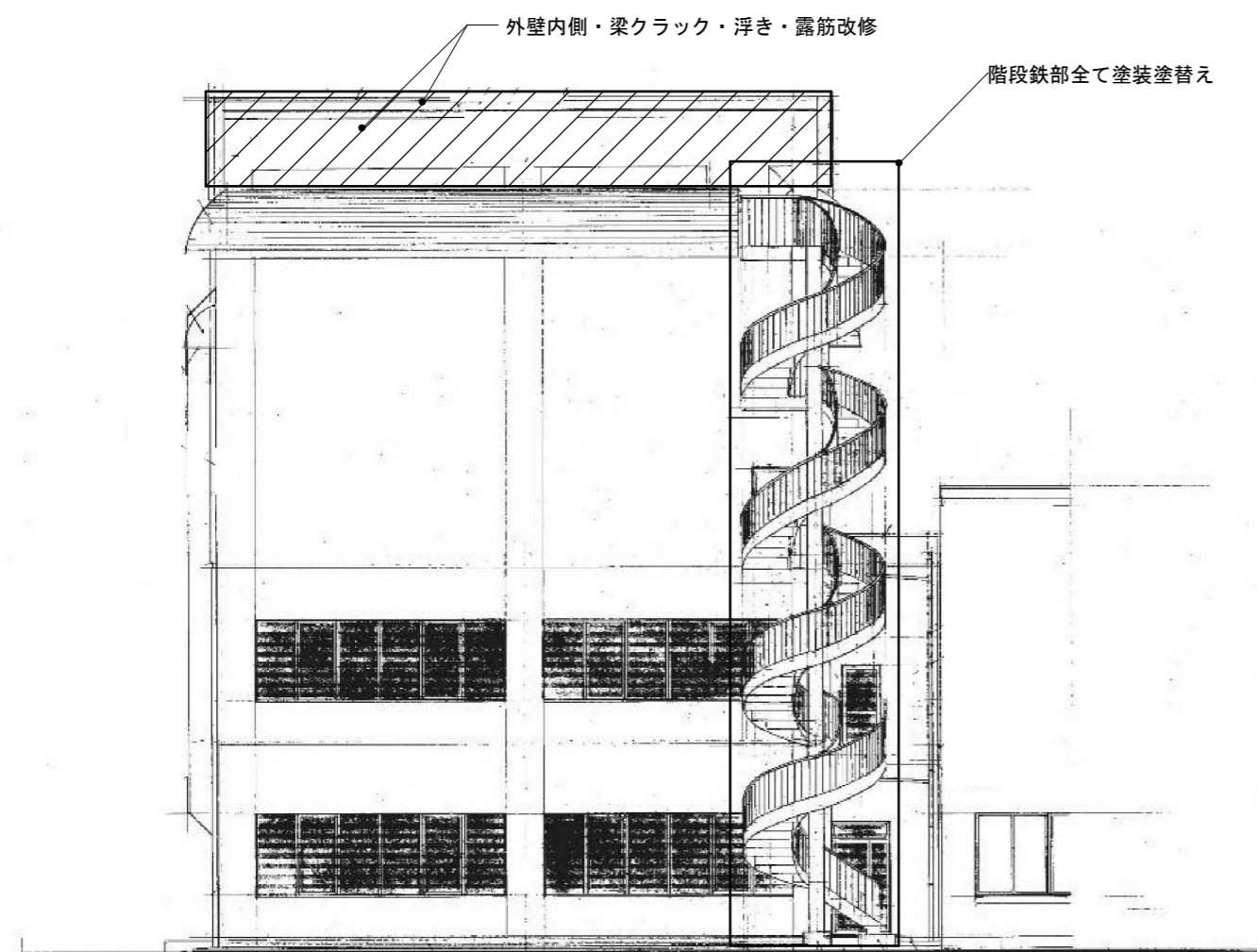




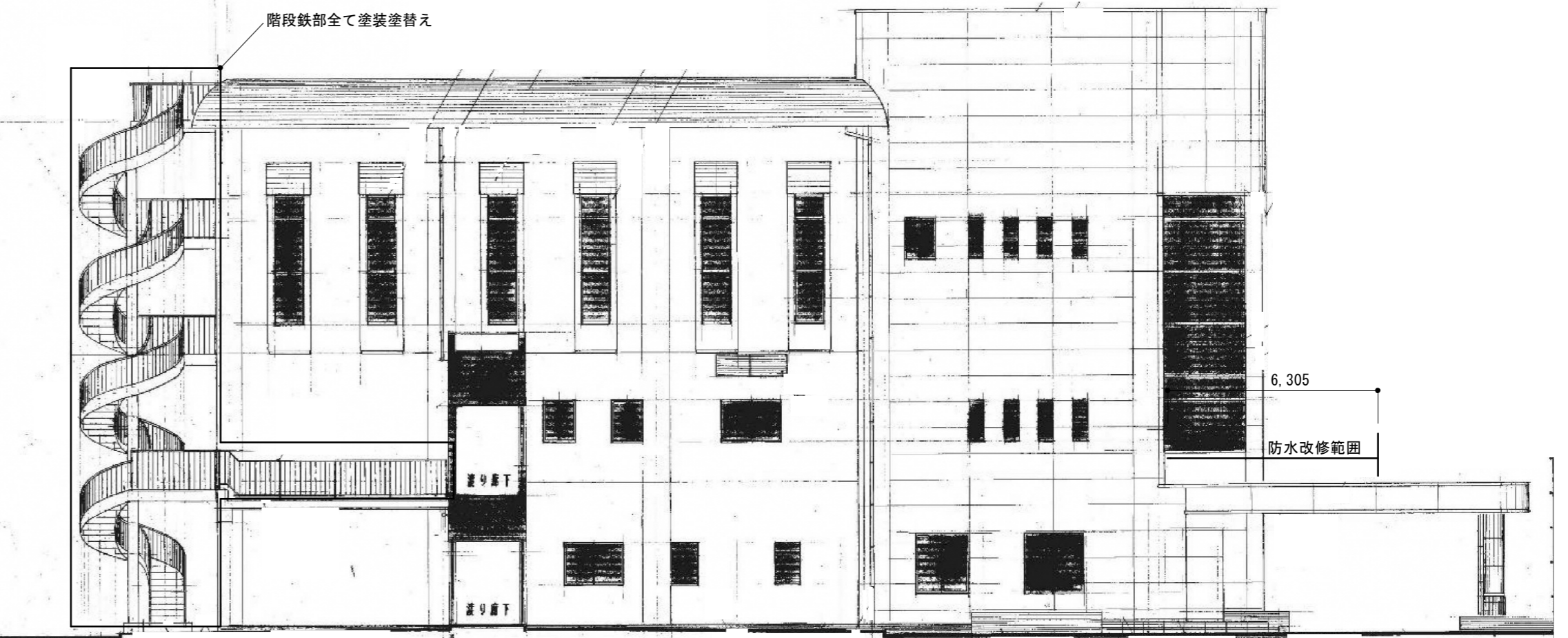
北面立面図 S=1 : 150



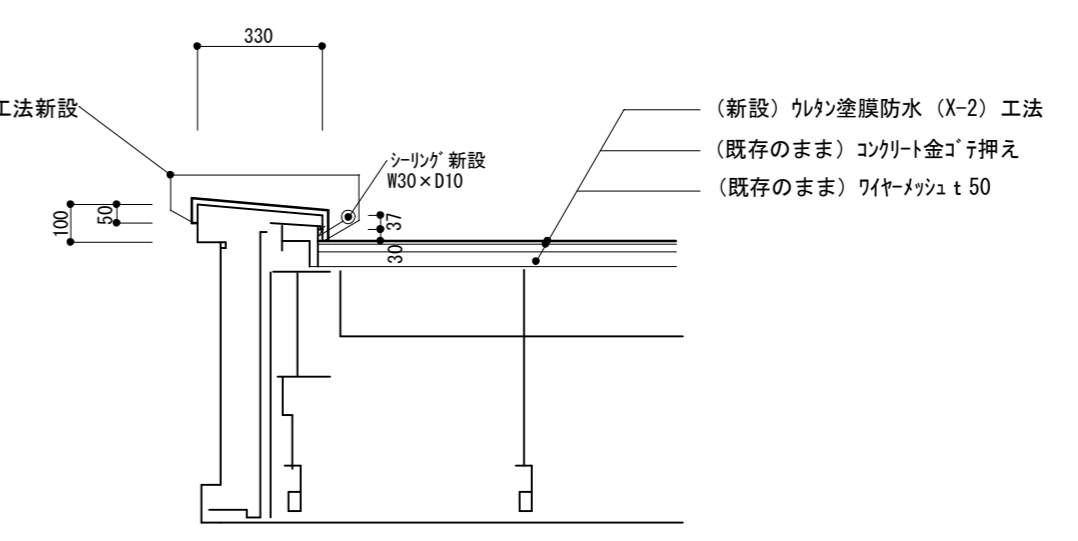
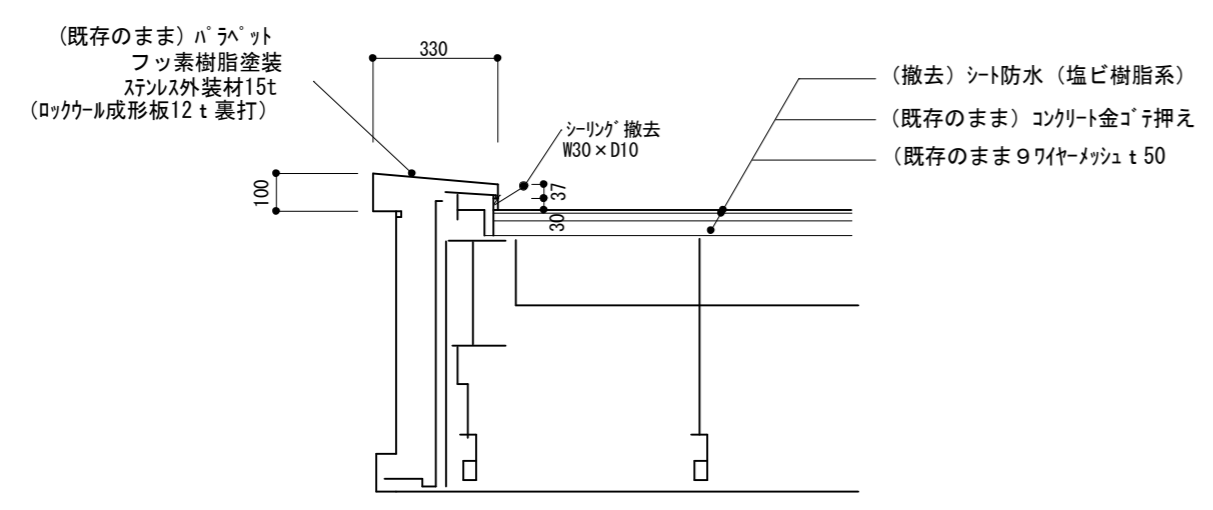
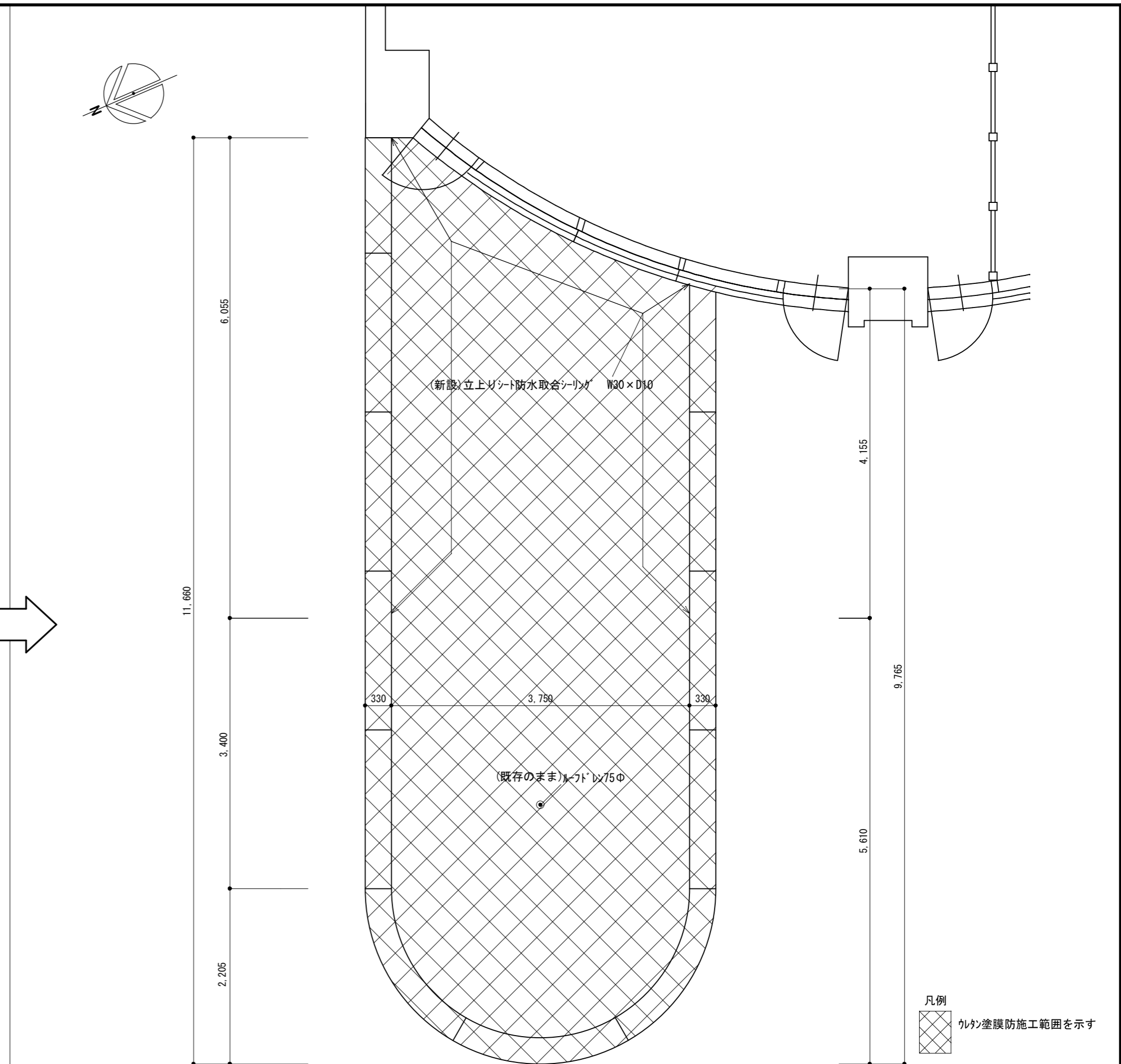
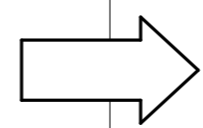
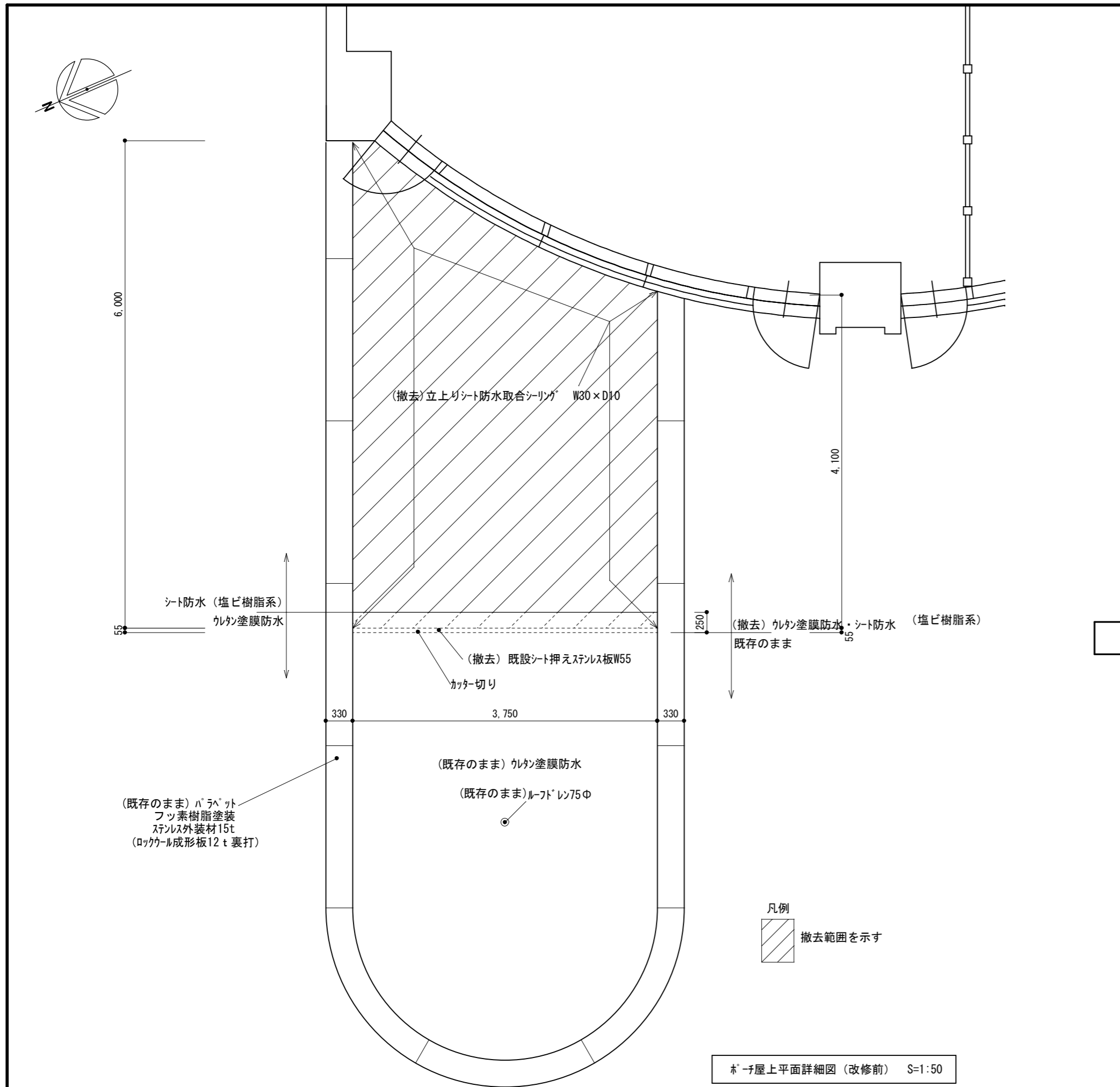
西面立面図 S=1 : 150

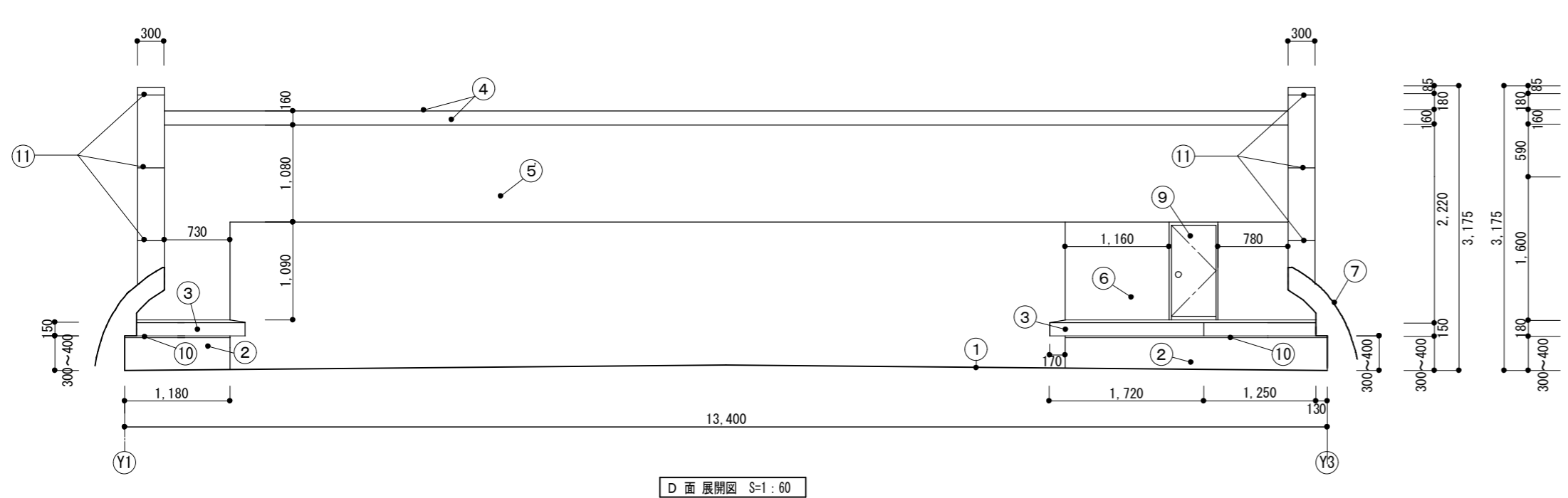


南面立面図 S=1 : 150

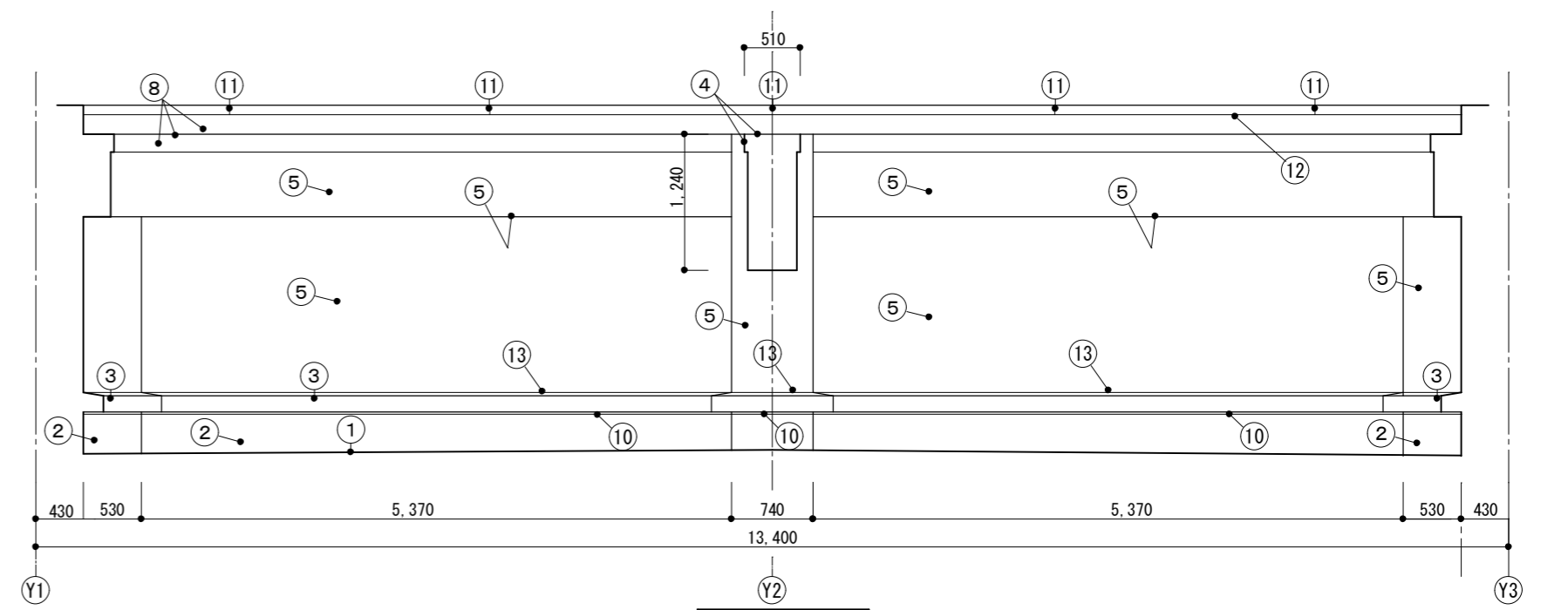


東面立面図 S=1 : 150

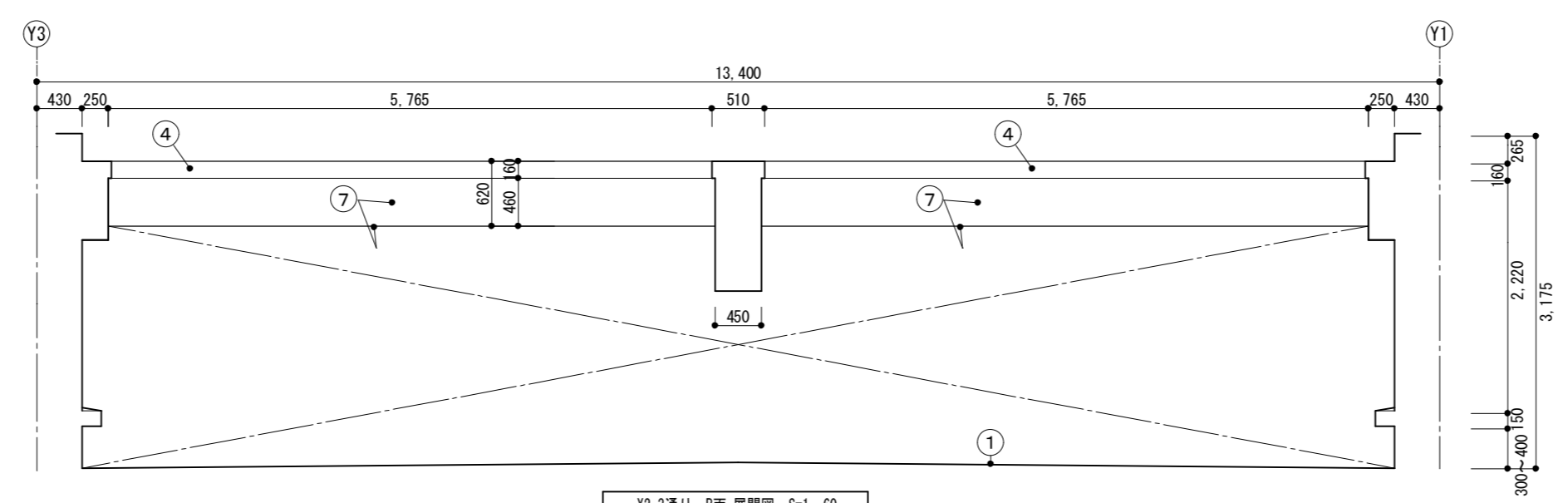




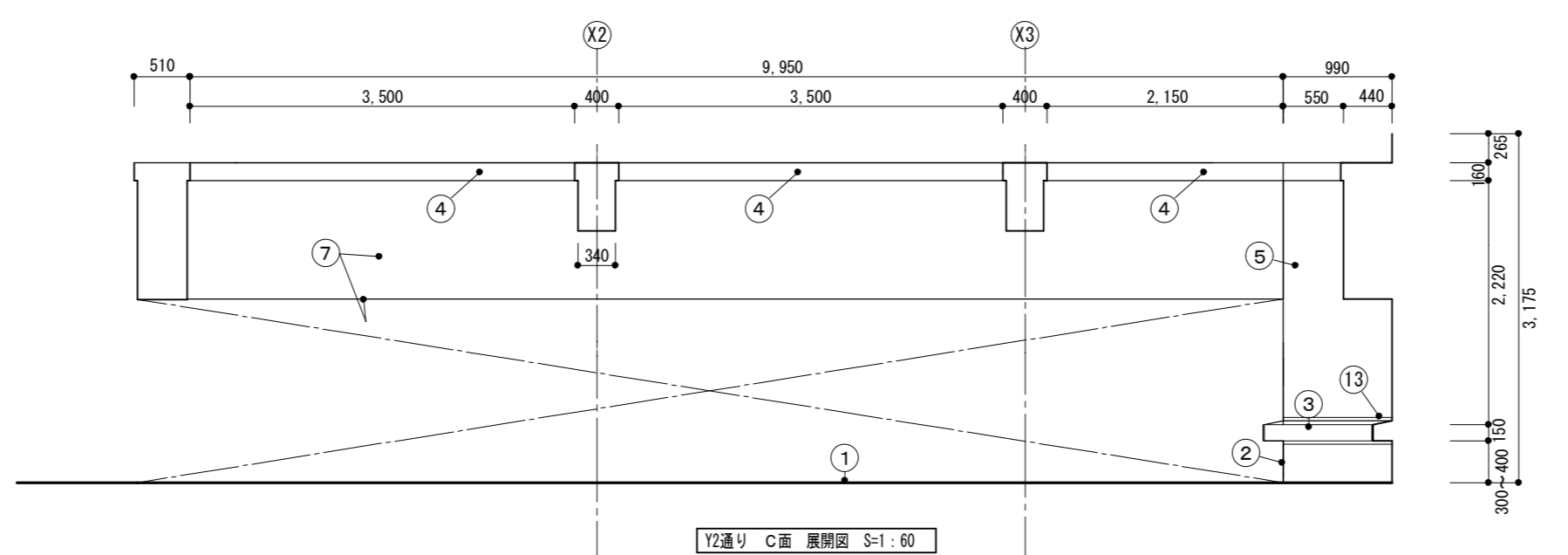
D面展開図 S=1:60



D面展開図 S=1:60



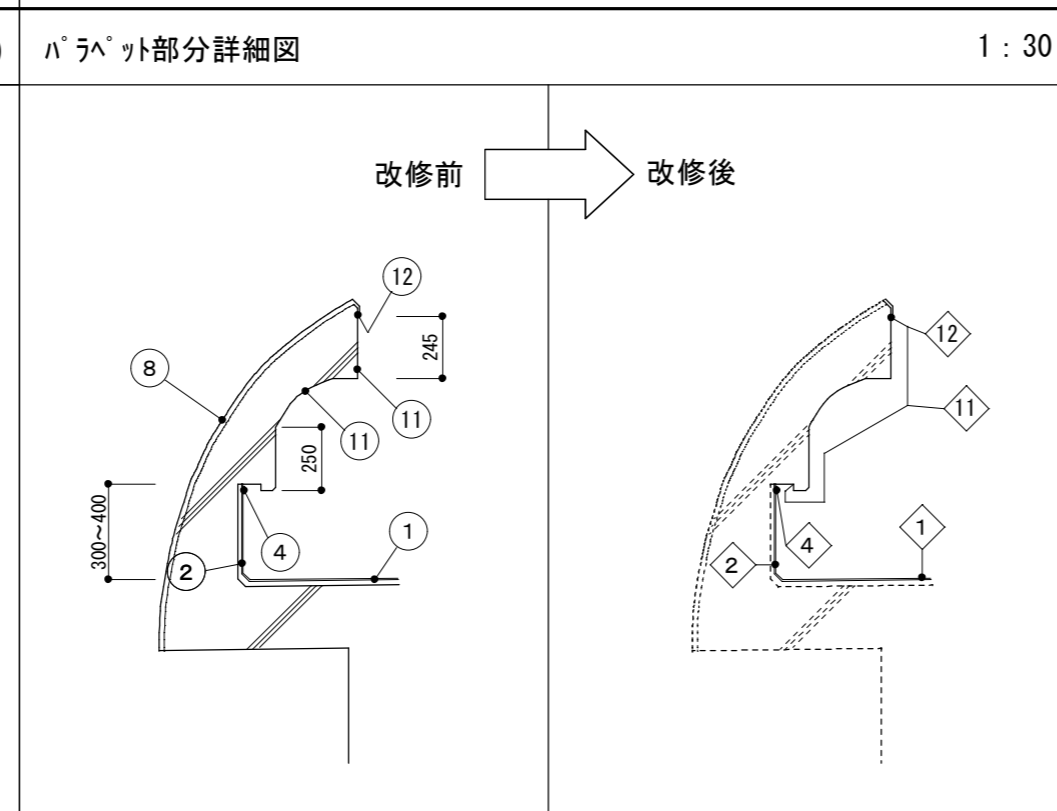
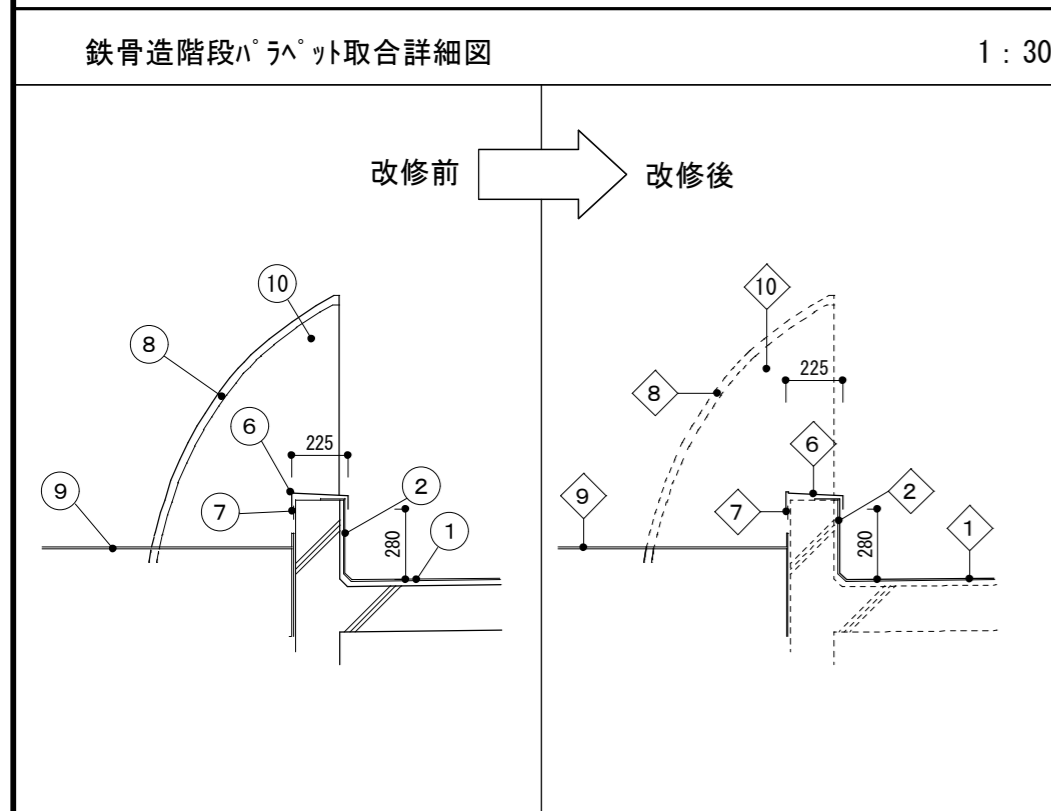
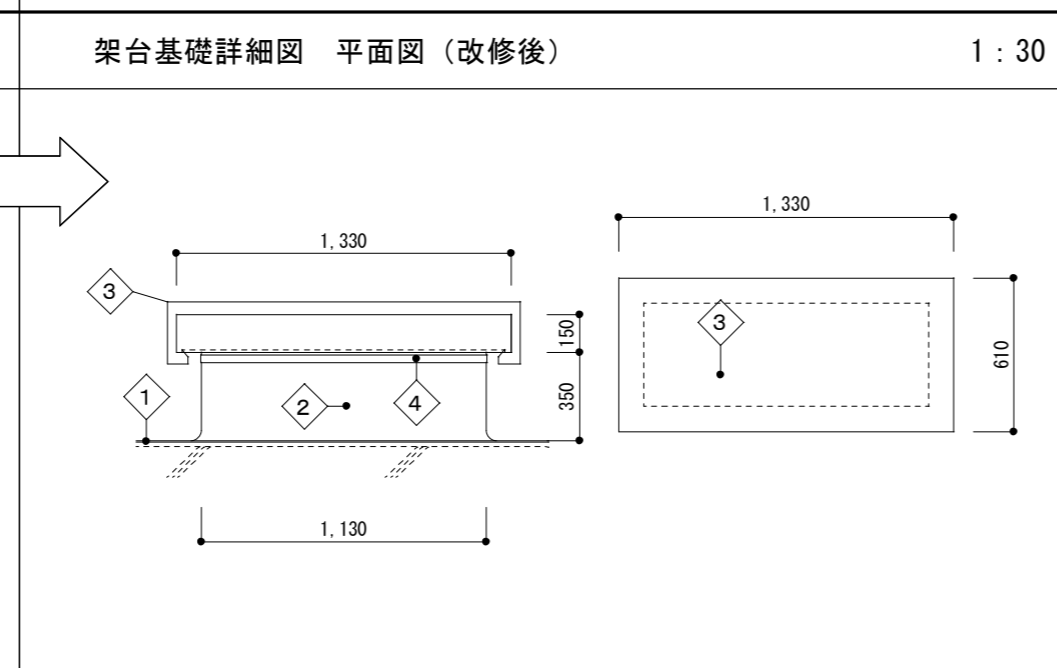
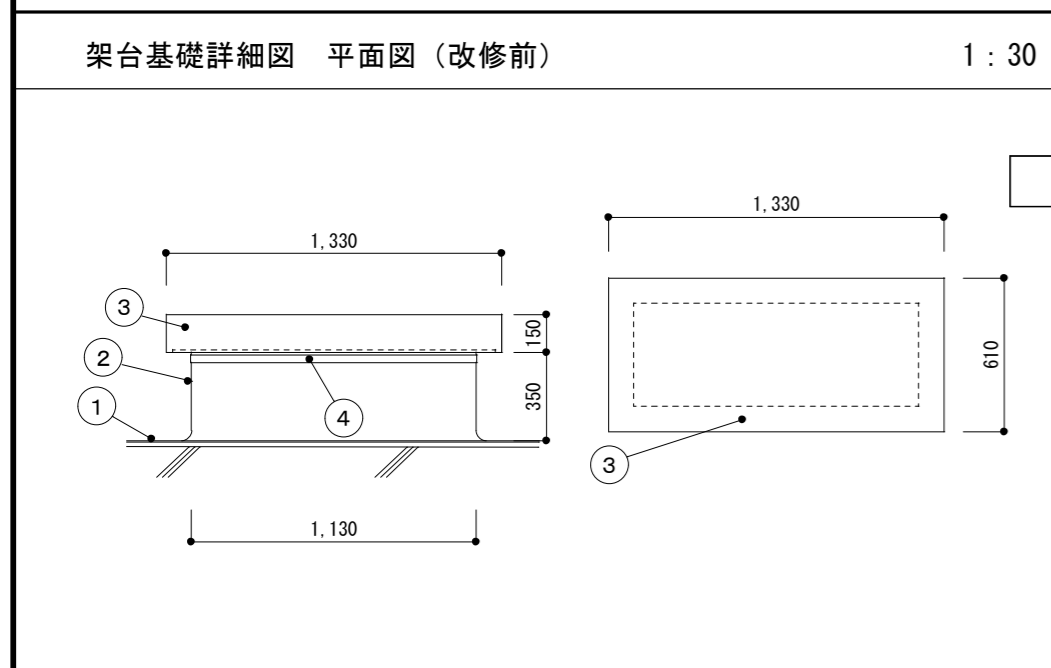
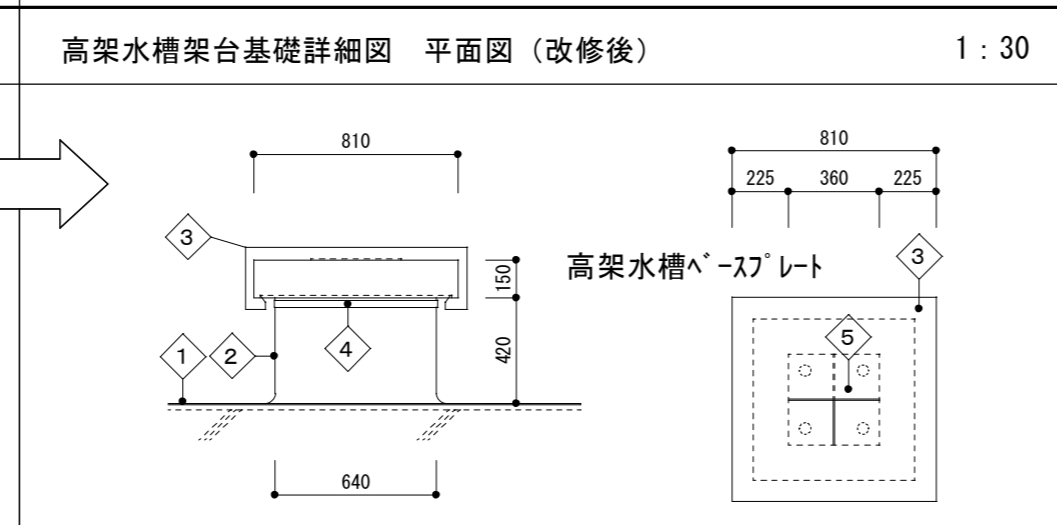
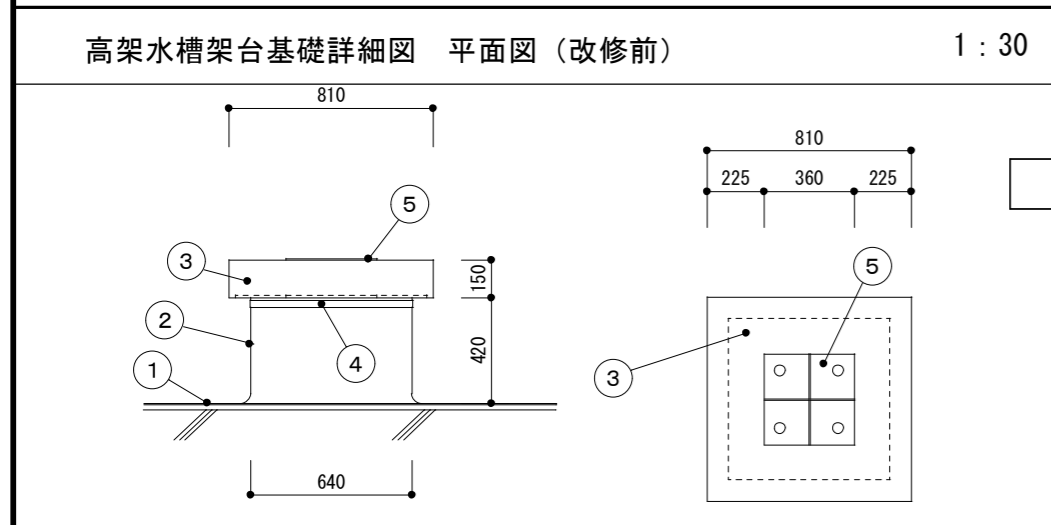
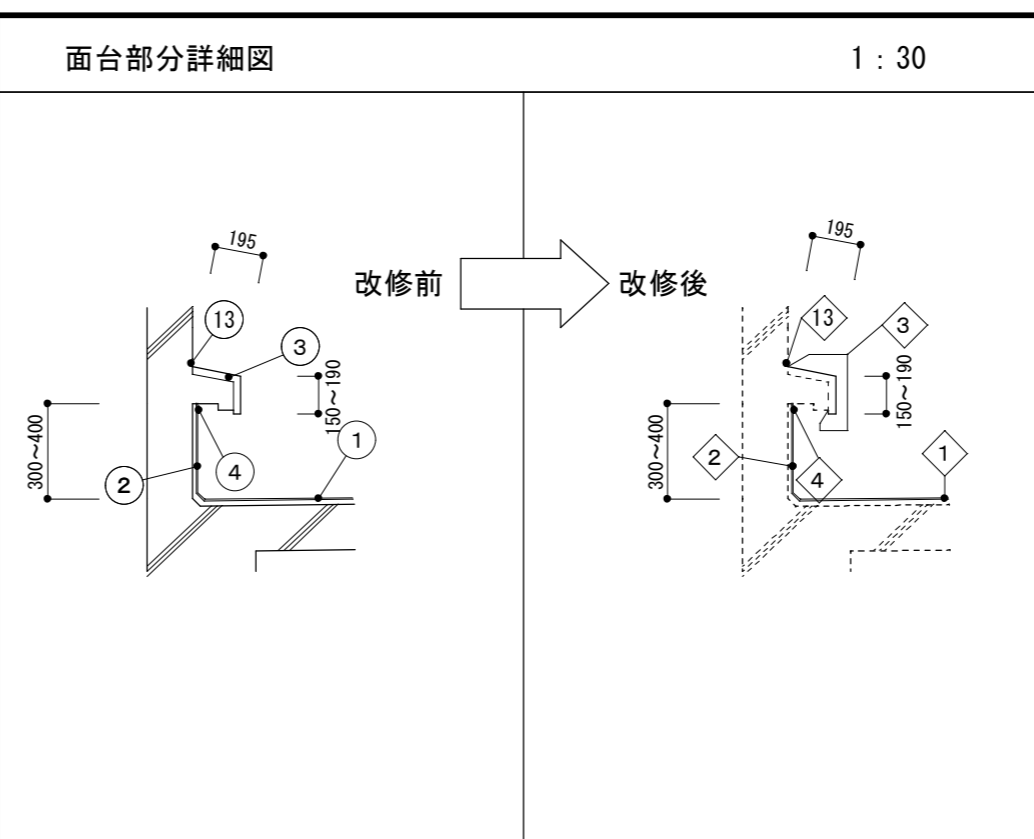
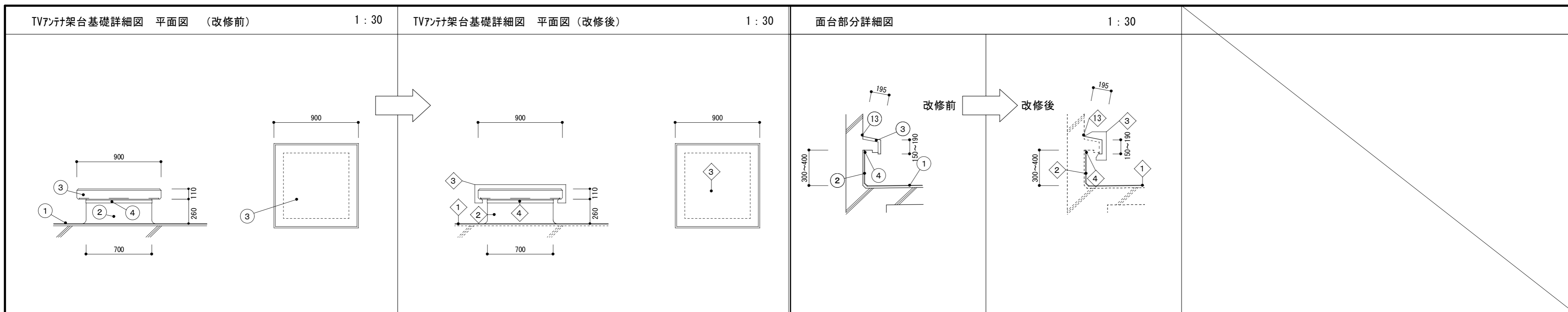
X2,3通り B面展開図 S=1:60



Y2通り C面展開図 S=1:60

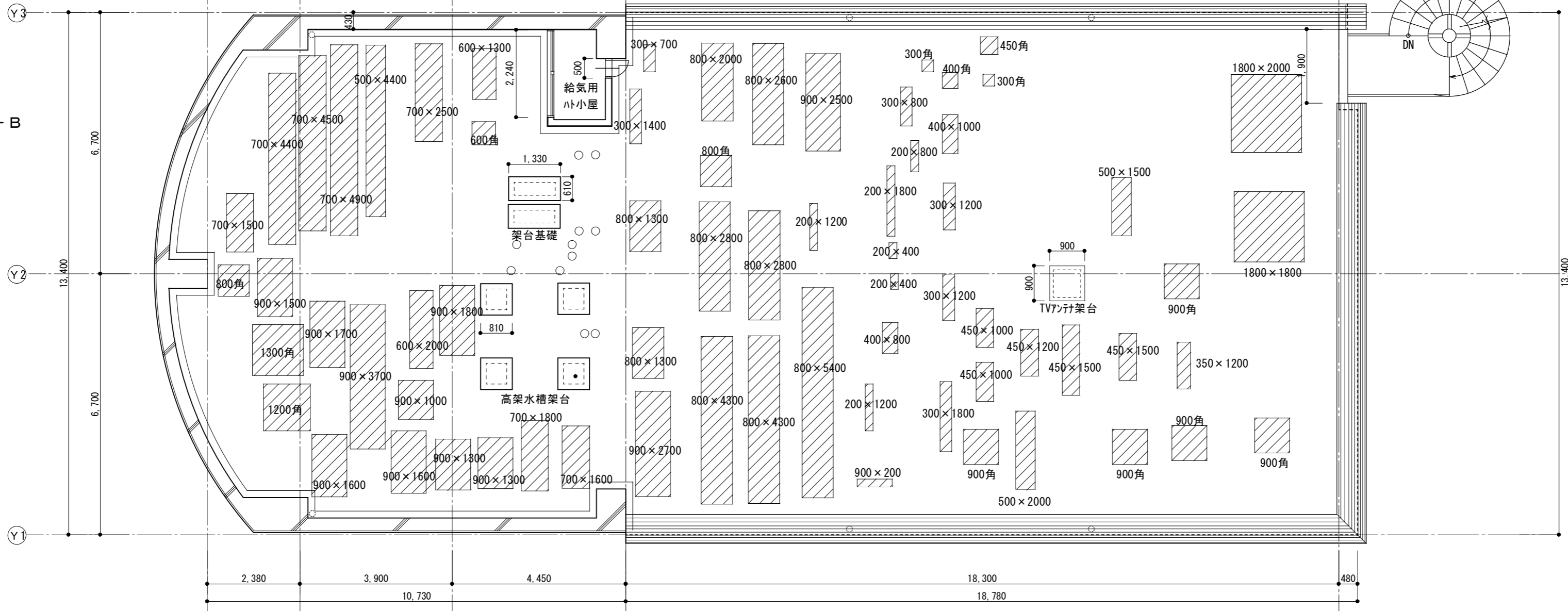
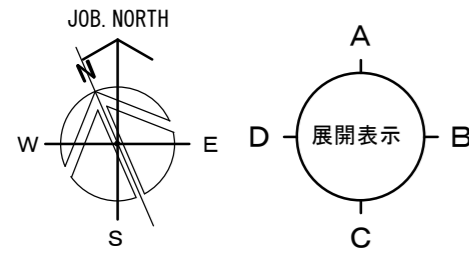
改修前 仕上符号	改修後 仕上符号	改修前 仕上符号	改修後 仕上符号	改修前 仕上符号	改修後 仕上符号
① (撤去) 屋上床 平部 7x7x4mm露出防水C-1仕様 防水層全て撤去	① (新設) 屋上床平部 4x4mm清掃 仮防水処理後 下地調整の上 改質7x7x4mmシート防水 AS-13仕様	⑥ (既存のまま) 小小屋壁 型枠コンクリート打放し	⑥ (塗装改修) 小小屋壁 型枠コンクリート打放し 高圧水洗浄 下地調整の上 防水型複層塗材RE塗装吹付	⑪ (既存のまま) 7x素樹脂スチロール外装材 (撤去) 7x素樹脂スチロール外装材目地シリング撤去 W20xD10	⑪ (既存のまま) 7x素樹脂スチロール外装材 (新設) 目地シリング (シリコン系) 新設 W20xD10
② (撤去) 立上り 7x7x4mm露出防水C-1仕様 防水層全て撤去	② (新設) 立上り 4x4mm清掃 仮防水処理後 下地調整の上 改質7x7x4mmシート防水 AS-13仕様	⑦ (既存のまま) 梁 型枠コンクリート打放し	⑦ (塗装改修) 梁 型枠コンクリート打放し 高圧水洗浄 下地調整の上 防水型複層塗材RE塗装吹付	⑫ (既存のまま) 7x素樹脂スチロール外装材 (撤去) 7x素樹脂スチロール外装材目地シリング撤去 W10xD10	⑫ (既存のまま) 7x素樹脂スチロール外装材 (新設) 目地シリング (シリコン系) 新設 W15/20xD10
③ (既存のまま) 面台 防水4x4mm金銀押え	③ (防水改修) 面台 防水4x4mm金銀押え 高圧水洗浄 下地調整の上 4x4mm塗膜防水X-2工法	⑧ (既存のまま) RC壁上部 防水4x4mm金銀押え	⑧ (塗装改修) RC壁上部 防水4x4mm金銀押え 高圧水洗浄 下地調整の上 4x4mm塗膜防水X-2工法	⑬ (撤去) 面台・RC壁取合シリング撤去 W30xD10	⑬ (新設) 面台・RC壁取合シリング 新設 W30xD10
④ (既存のまま) 梁上部 防水押え金物	④ (防水改修) 梁上部 防水4x4mm金銀押え 高圧水洗浄 下地調整の上 4x4mm塗膜防水X-2工法	⑨ (既存のまま) 7x方開戸 W500xH1000	⑨ (既存のまま) 7x方開戸 W500xH1000 (撤去) 建具廻りシリング撤去 W20xD10		
⑤ (既存のまま) RC壁 型枠コンクリート打放し RC壁 型枠コンクリート打放し塗装仕上 (5)	⑤ (塗装改修) RC壁 型枠コンクリート打放し 高圧水洗浄 下地調整の上 防水型複層塗材RE塗装吹付	⑩ (撤去) 防水押え金物 W30	⑩ (新設) 防水押え7x金物 W30		

鳥取県
令和5年度
J2300554
中部環境建築
局

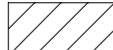


改修前 仕上符号	改修後 仕上符号	改修前 仕上符号	改修後 仕上符号
① (撤去) 平部 7x7x16露出防水C-1仕様 防水層全て撤去	① (防水改修) 平部 汚清掃 仮防水処理後 下地調整の上 改質7x7x16シート防水 AS-T3仕様	⑥ (一時撤去) 7x6既製並木 (シム) 撤去保管	⑥ (再取付) 7x6既製並木 (シム) 保管品復旧
② (撤去) 立上り 7x7x16露出防水C-1仕様 防水層全て撤去	② (防水改修) 立上り 汚清掃 仮防水処理後 下地調整の上 改質7x7x16シート防水 AS-T3仕様	⑦ (一時撤去) 7x6既製並木取付金物 撤去保管	⑦ (再取付) 7x6既製並木取付金物 保管品復旧
③ (既存のまま) 架台上部 面台 防水t4外金銀押え	③ (防水改修) 架台上部 面台 防水t4外金銀押え 高圧水洗浄 下地処理後 汚清掃防水X-2工法	⑧ (既存のまま) ハコ階段 鋼板0.4t横葺	⑧ (既存のまま) ハコ階段 鋼板0.4t横葺
④ (撤去) 防水押え金物	④ (新設) 防水押え7x6金物	⑨ (既存のまま) 外部階段 編鋼板t6	⑨ (塗装改修) 外部階段 編鋼板t6 下地調整の上耐候性塗料DP塗り
⑤ (既存のまま) 高架水槽へスプレート	⑤ (既存のまま) 高架水槽へスプレート	⑩ (既存のまま) 外壁	⑩ (既存のまま) 外壁
⑪ (既存のまま) 合板型枠コンクリート打放し 塗装仕上	⑪ (塗装改修) 合板型枠コンクリート打放し 塗装仕上 高圧水洗浄 下地調整の上 防水型複層塗材RC塗装吹付		
⑫ (撤去) ハコ階段 鋼板 型枠コンクリート打放し取合 鉄リウネ系シーリング W10xD10 撤去	⑫ (新設) ハコ階段 鋼板 型枠コンクリート打放し取合 鉄リウネ系シーリング W10xD10 新設		
⑬ (撤去) 面台 RC壁取合鉄リウネ系シーリング 撤去	⑬ (新設) 面台 RC壁取合鉄リウネ系シーリング 新設 W30xD10		

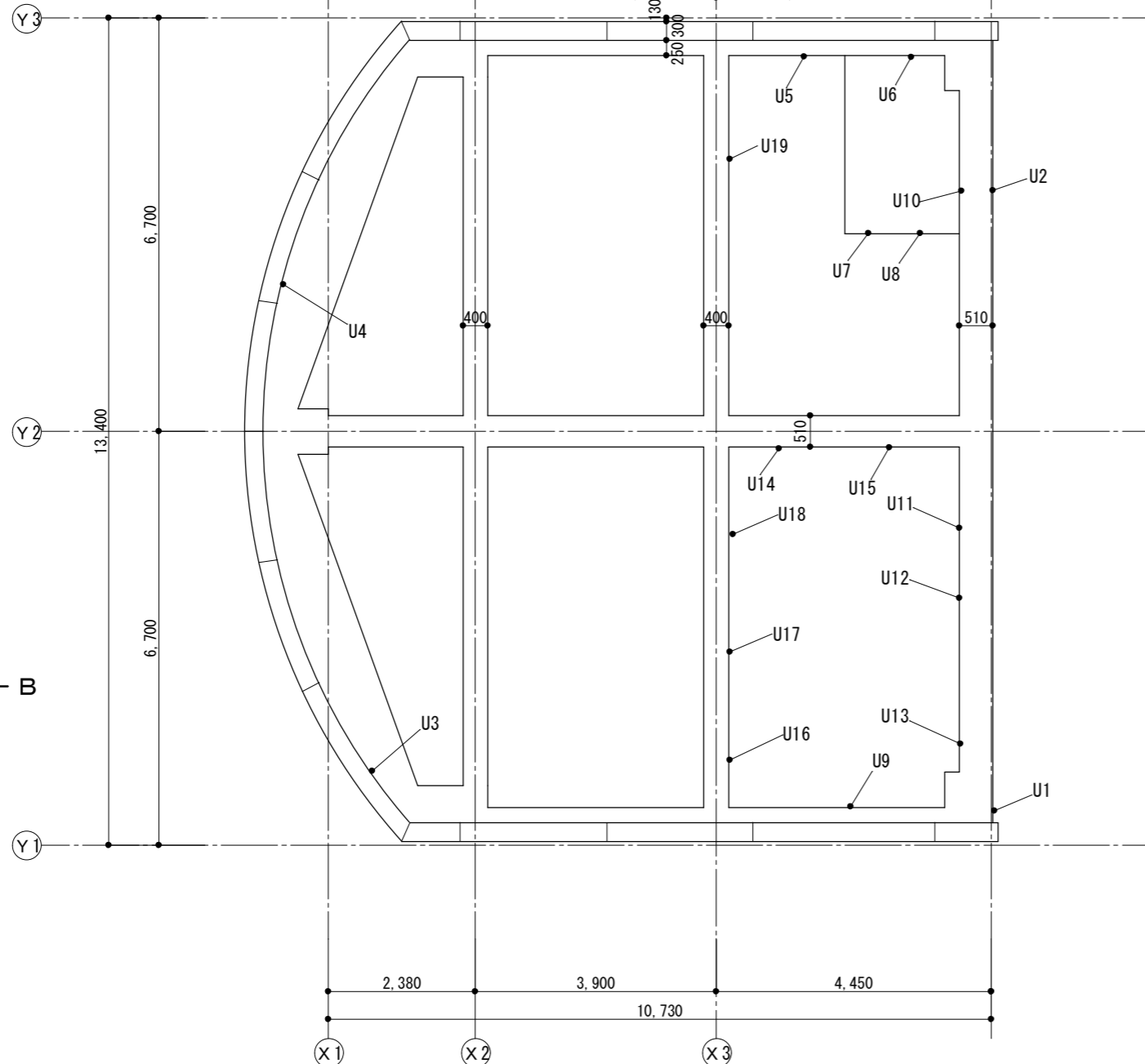
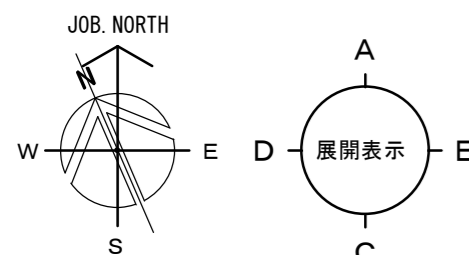




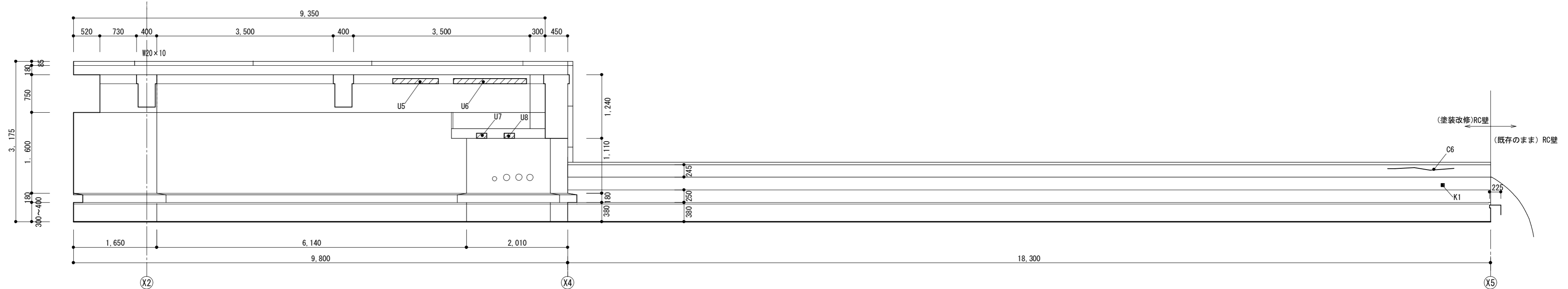
平面図調査図 S=1:100

凡例
 露出アスファルト防水浮き部分を示す
 計82.7㎡ (全70箇所)

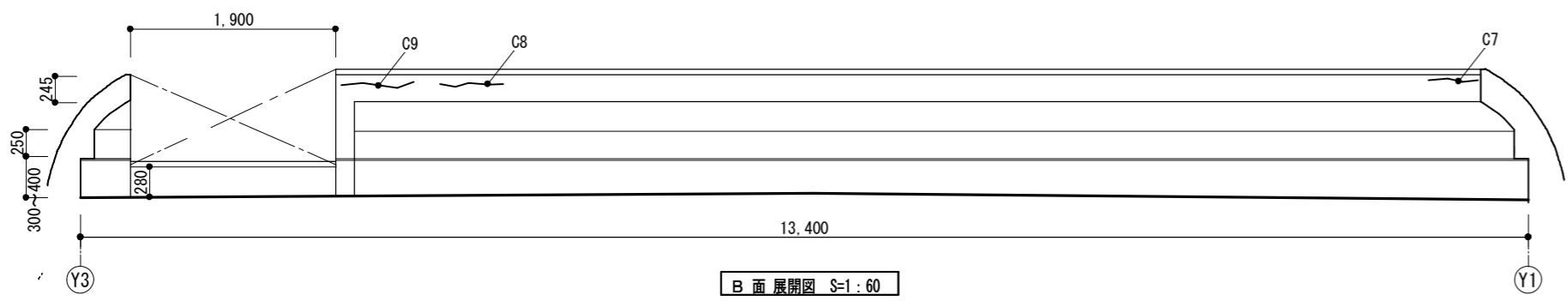
(実施設計時における) RC壁・笠木防水処理打診範囲
 (実施設計時における) 梁・RC壁・笠木防水処理打診範囲



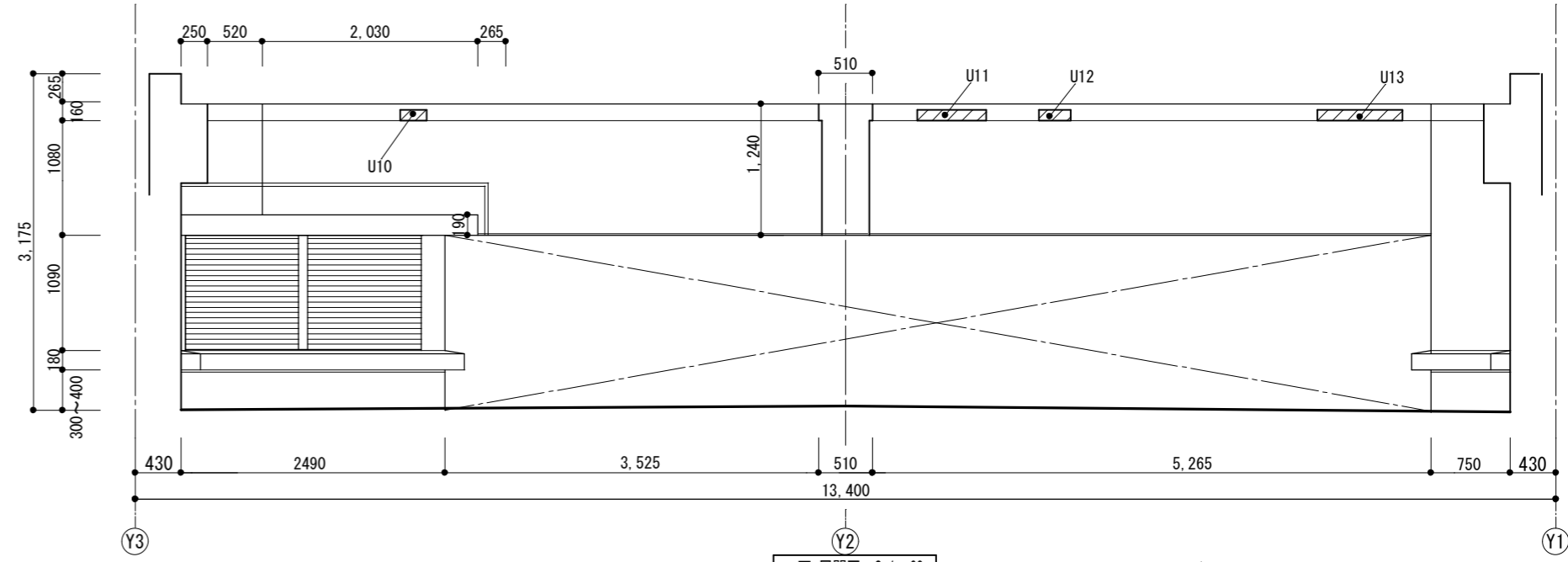
上部梁伏図 S=1:100



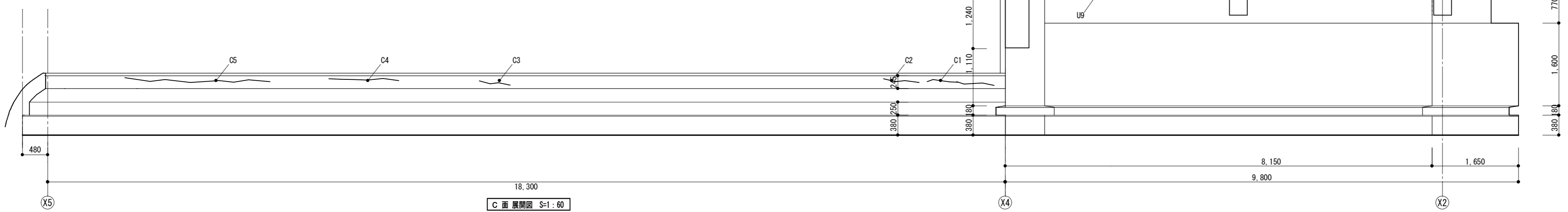
A面展開図 S=1:60



B面展開図 S=1:60



B面展開図 S=1:60



C面展開図 S=1:60

クワ集計表

記号	W (mm)	L (m)
C1	0.35	1.3
C2	0.2	0.67
C3	0.35	0.7
C4	0.5	1.35
C5	0.4	2.8
C6	0.5	1.5
C7	0.5	0.7
C8	0.2	0.6
C9	0.2	0.8
合計	10.42	

浮集計表

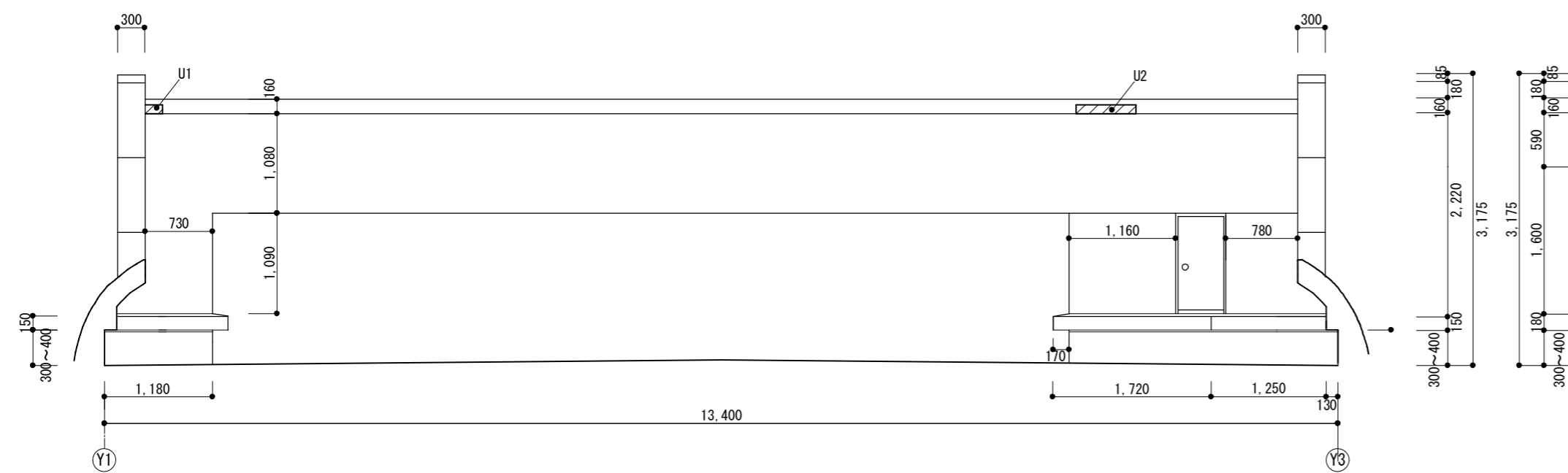
記号	W (mm)	L (m)	面積 (㎡)	記号	W (mm)	L (m)	面積 (㎡)
U1	0.1	0.19	0.02	U11	0.1	0.65	0.07
U2	0.1	0.65	0.07	U12	0.1	0.3	0.03
U3	0.1	0.8	0.08	U13	0.1	0.8	0.08
U4	0.1	3.53	0.35	U14	0.1	0.8	0.08
U5	0.1	0.9	0.09	U15	0.1	1.45	0.15
U6	0.1	1.45	0.15	U16	0.1	1.95	0.2
U7	0.1	0.2	0.02	U17	0.1	0.3	0.03
U8	0.1	0.2	0.02	U18	0.1	1.9	0.19
U9	0.1	3.5	0.35	U19	0.1	0.7	0.07
U10	0.1	0.25	0.03	合計			2.08

欠損集計表

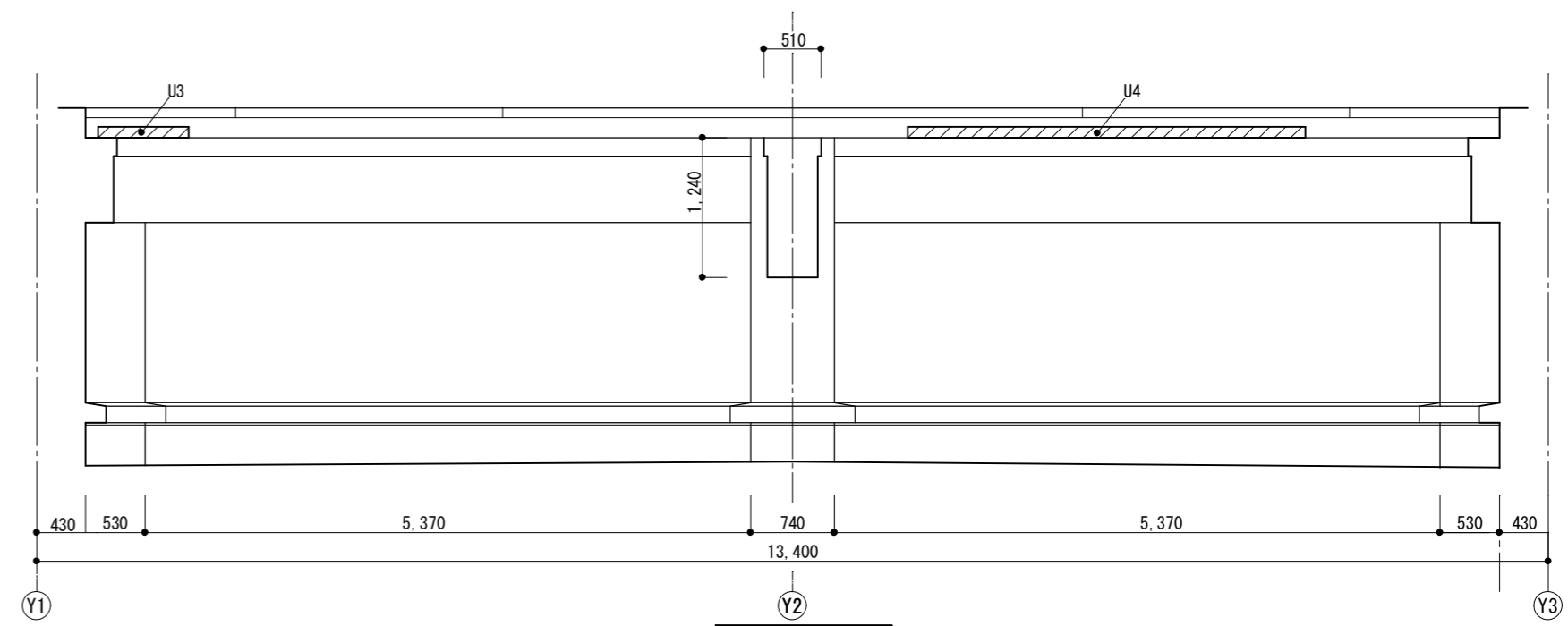
記号	W (mm)	L (m)	面積 (㎡)
K1	0.08	0.07	0.006
合計			0.006

●施工数量調査を実施し、監督員に報告し、承諾を得ること。

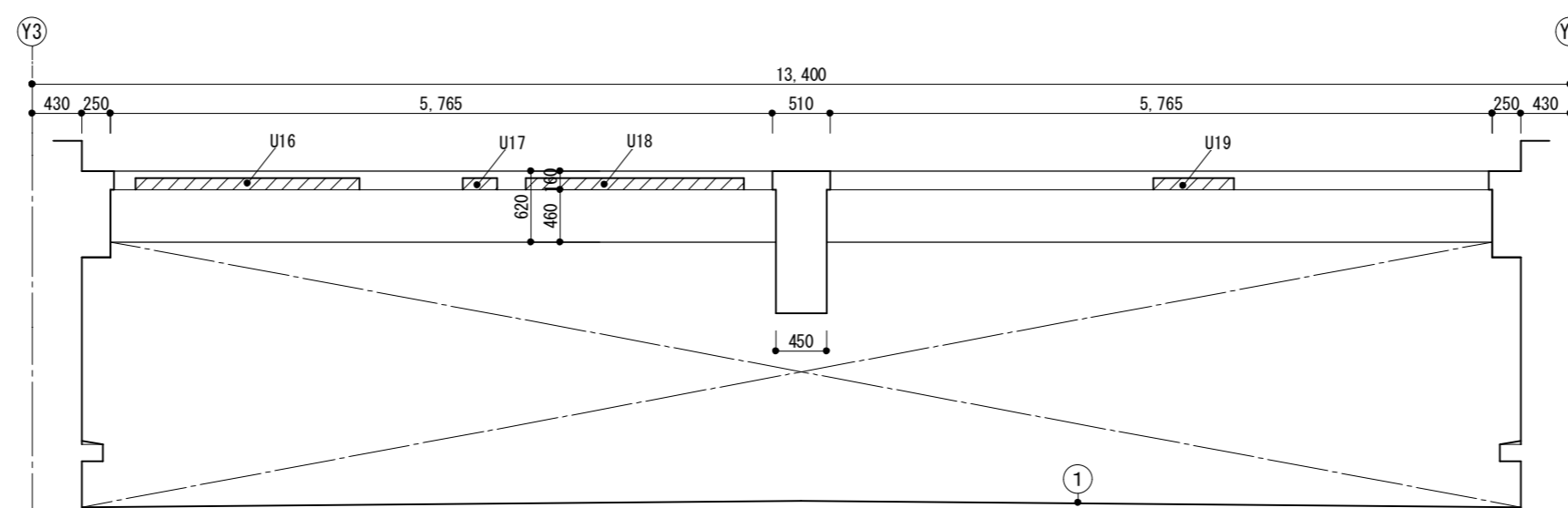




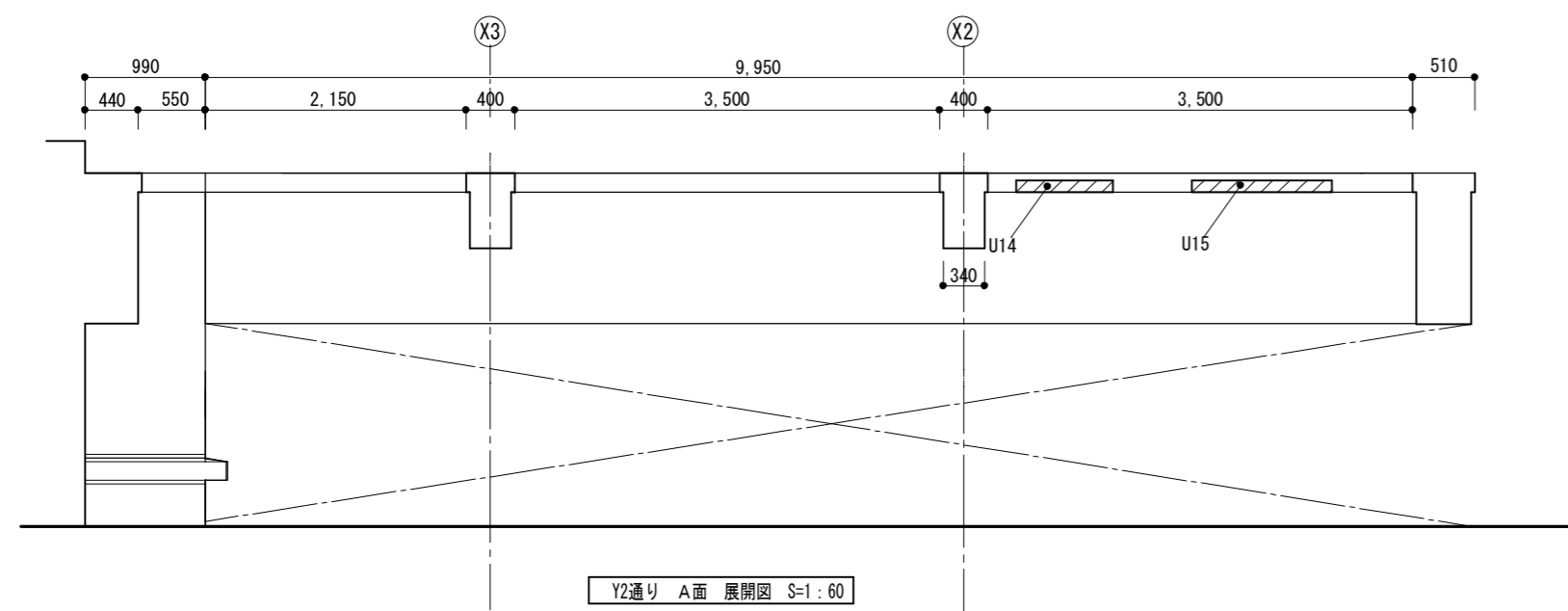
D面展開図 S=1:60



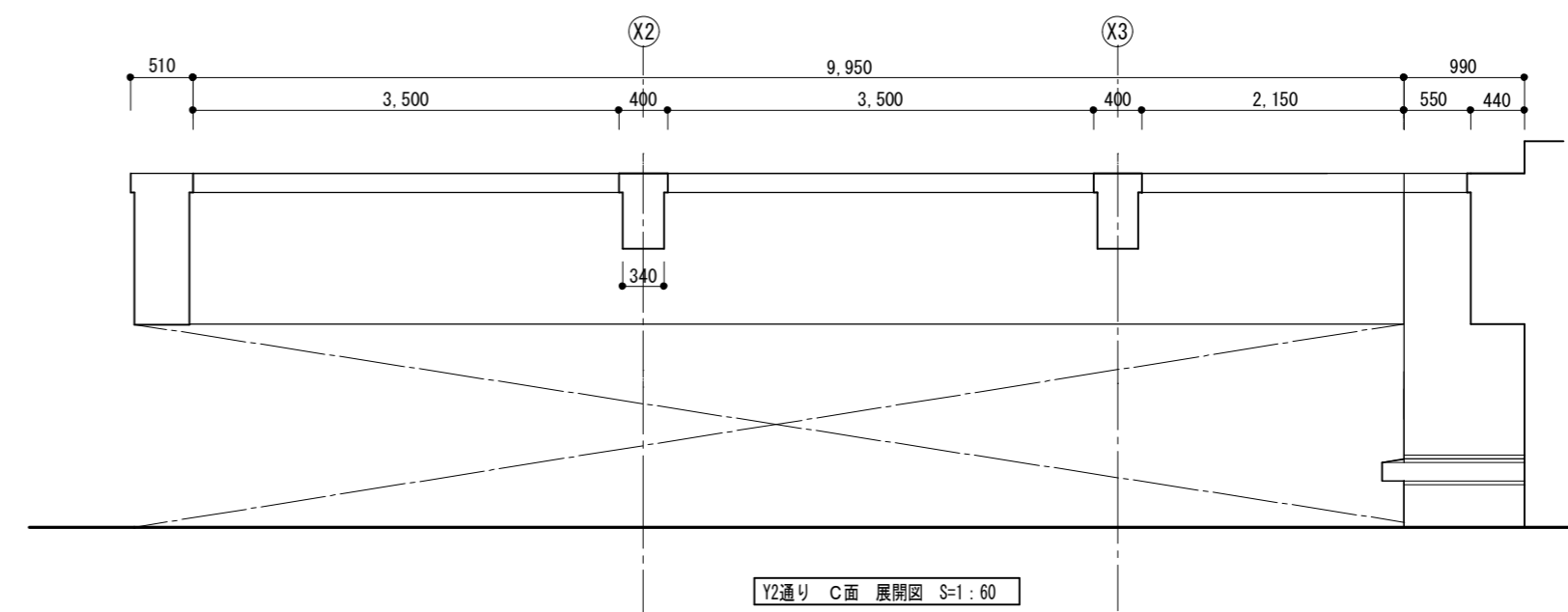
D面展開図 S=1:60



X3通り D面展開図 S=1:60



Y2通り A面展開図 S=1:60



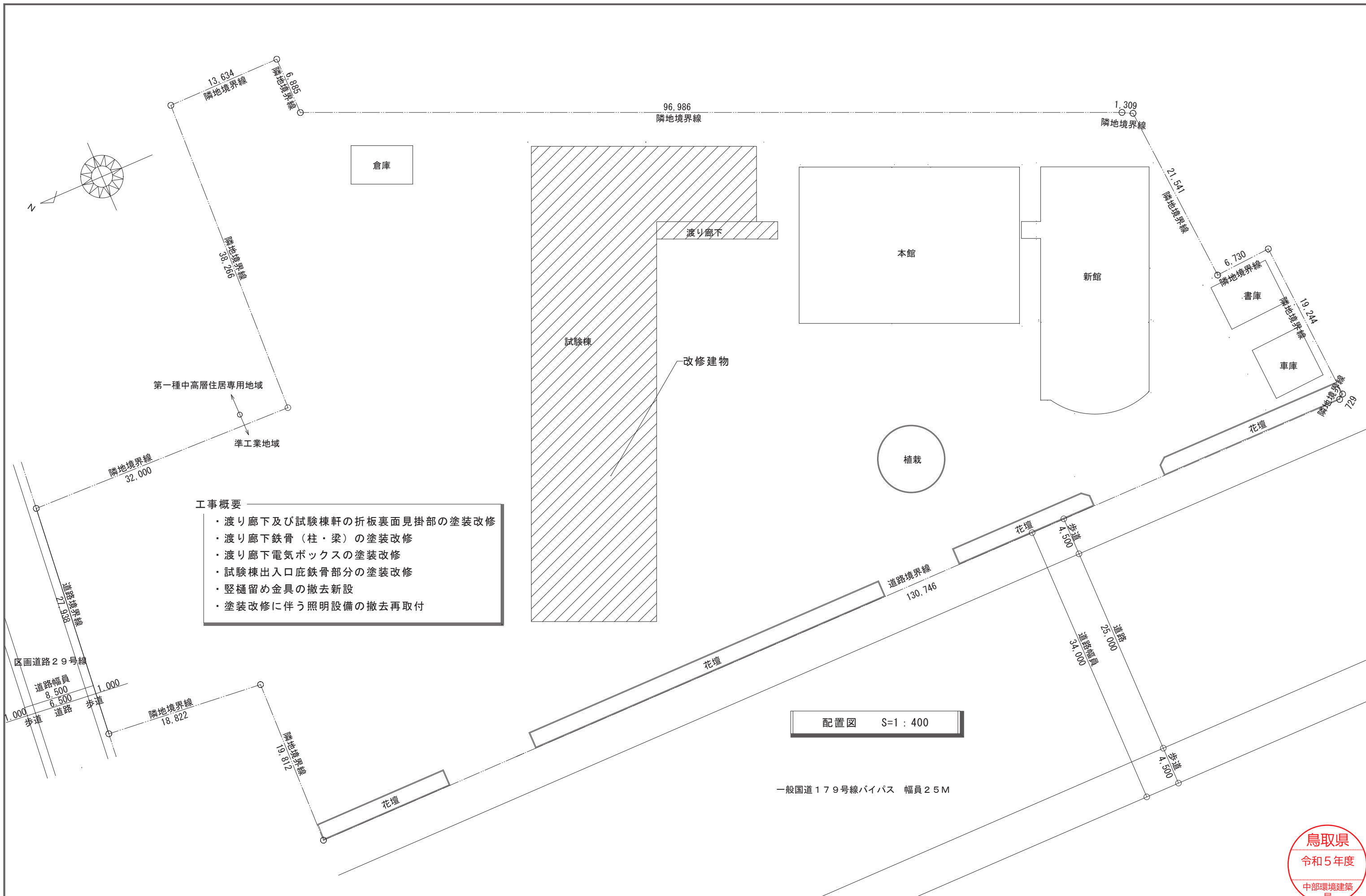
Y2通り C面展開図 S=1:60

12	化学物質の濃度測定 [1.7.9]	1) 測定対象室のホルムアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。 ・パラジクロロベンゼンを追加して分析を行う 測定対象室 ()																																																																							
		2) パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。 ①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。 ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。																																																																							
13	完成写真	下記のものを監督職員に提出する。																																																																							
		<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 工事記録写真</td> <td>カラーサービス判</td> <td>各工種の工程毎</td> <td>1部</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※ 完成写真</td> <td rowspan="2">カラーサービス判</td> <td>・ 内部 箇所</td> <td>2部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外部 箇所</td> <td>2部</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ パネル</td> <td rowspan="2">カラー</td> <td>・ 内部 箇所</td> <td>部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外部 箇所</td> <td>部</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 四ツ切 箇所</td> <td>2部</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 半切 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 全紙 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 電子データ又はネガの提出 [工事記録写真] (・ 要 ・ 不要) ・ 電子データ又はネガの提出 [完成写真] (・ 要 ・ 不要)</p>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考	※ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	1部		※ 完成写真	カラーサービス判	・ 内部 箇所	2部		・ 外部 箇所	2部		・ パネル	カラー	・ 内部 箇所	部		・ 外部 箇所	部				・ 四ツ切 箇所	2部				・ 半切 箇所					・ 全紙 箇所																																
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考																																																																					
※ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	1部																																																																						
※ 完成写真	カラーサービス判	・ 内部 箇所	2部																																																																						
		・ 外部 箇所	2部																																																																						
・ パネル	カラー	・ 内部 箇所	部																																																																						
		・ 外部 箇所	部																																																																						
		・ 四ツ切 箇所	2部																																																																						
		・ 半切 箇所																																																																							
		・ 全紙 箇所																																																																							
14	完成時の提出図書 [1.9.1,2]	下記のものを監督職員に提出する																																																																							
		<p>※ 原因A1版又はA2版（設計図の第2原因訂正不可） 部 ※ CADデータ 1 式 ※ 原因の大型コピー（白焼）の2つ折製本 部 ※ 縮小版2つ折製本（A4版） 2 部 ・ 複写 縮小版A3バラ焼 部</p> <p>完成図の種類及び内容（改修前後の状態が分かるように整備する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 案内図・配置図 : 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む ○ 改修概要図 : 改修概要、部位等を表示する ○ 平面図 : 室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する ○ 立面図 : 外壁仕上、補修範囲等を表示する ○ 断面図 : 階高、天井高等を表示する ○ 仕上表 : 屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する ○ 構造図 : 杭、構造躯体等を表示する ○ その他 : (塗装範囲がわかるもの) <p>・ 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける</p>																																																																							
15	設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員に承諾を受ける。																																																																							
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">設備工事との取り合い</th> <th>建 築</th> <th>電 気</th> <th>機 械</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンクリート壁、床、梁貫通部</td> <td>補強</td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>開口</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 鉄骨造の開口及び補強</td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 照明器具・幹線等の吊りボルト</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地</td> <td></td> <td>・</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強</td> <td>仮枠 補強</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強</td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 埋込型機器取付用の天井壁の切込加工、下地の補強</td> <td>切込 補強</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ</td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 電気室、自家発電室などの基礎及びビット</td> <td>基礎</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ テレビアンテナ</td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 天井点検口</td> <td>アンカーボルト</td> <td>・</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 機器類のコンクリート基礎</td> <td></td> <td>※</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 屋内・屋外設置</td> <td>・</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 屋上設備</td> <td>※</td> <td>・</td> </tr> </table>	設備工事との取り合い		建 築	電 気	機 械	・ コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	※	・	・	開口	・	※	※	・ 鉄骨造の開口及び補強		※	・	・	・ 照明器具・幹線等の吊りボルト	・	※	・	・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		・	※	・	・ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 補強	・	※	・ O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	・	・	・ 埋込型機器取付用の天井壁の切込加工、下地の補強	切込 補強	・	※	・ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	・	・	・ 電気室、自家発電室などの基礎及びビット	基礎	※	・	・ テレビアンテナ		※	・	・	・ 天井点検口	アンカーボルト	・	※	・ 機器類のコンクリート基礎		※	・	・	・ 屋内・屋外設置	・	※	※			・ 屋上設備
設備工事との取り合い		建 築	電 気	機 械																																																																					
・ コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	※	・	・																																																																					
	開口	・	※	※																																																																					
・ 鉄骨造の開口及び補強		※	・	・																																																																					
	・ 照明器具・幹線等の吊りボルト	・	※	・																																																																					
・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		・	※	・																																																																					
	・ 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 補強	・	※																																																																					
・ O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	・	・																																																																					
	・ 埋込型機器取付用の天井壁の切込加工、下地の補強	切込 補強	・	※																																																																					
・ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	・	・																																																																					
	・ 電気室、自家発電室などの基礎及びビット	基礎	※	・																																																																					
・ テレビアンテナ		※	・	・																																																																					
	・ 天井点検口	アンカーボルト	・	※																																																																					
・ 機器類のコンクリート基礎		※	・	・																																																																					
	・ 屋内・屋外設置	・	※	※																																																																					
		・ 屋上設備	※	・																																																																					
16	撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。 ダイヤモンドカッター切り深さ (※30mm程度)																																																																							

17	適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 基準風速 $V_0 = \text{m/s}$ 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV 積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表 () 下記のものA4版ファイルに製本して監督職員に提出する。 ・ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表 ・ 機器性能試験成績書及び取扱説明書 ・ 保証書 ・ 官公署届出書類（保守に必要とするもの） ・ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書
	18 保全に関する資料 [1.9.3]	
19	火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで(概ね工期+21日)とする。)
	20 環境配慮	鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ・ 非対象工事
21	建設リサイクル法	※ 対象工事 ・ 非対象工事
	22 鳥取県福祉のまちづくり条例	※ 対象工事 ・ 非対象工事
23	景観形成条例	※ 対象工事 ・ 非対象工事
	24 建築物省エネ法	※ 対象工事 ・ 非対象工事
2	1 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]	騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用方式により行う。 外部足場 ・ 設置する(範囲 ※工事に必要な範囲) ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する(範囲 ※工事に必要な範囲) ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する(※脚立、足場板等) ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 C種: 利用可能なエレベーター () D種: 利用可能な階段 ()
	2 足場その他 [表2.2.1]	
3	3 既存部分の養生 [2.3.1]	養生方法等 ・ 既存部分の養生方法 ※ビニルシート、合板等による ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニルシート等(取外し再取付けを行う) 保管場所 ※構内既存施設内 ・ 固定された家具等(備品、机、ロッカー等)の移動 ※行う(図示) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	4 仮設間仕切り [2.3.2]	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示 仮設間仕切りの種別と材質等 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示 A、B種の仕上り材 ※石こうボード (GB-R 厚さ9.5mm) ・ 合板 (普通合板 厚さ9mm) A、B種の片面への塗装等 ・ 行う ※行わない A種のグラスウール等の充填材 ※ 行う (JIS A 6301グラスウール吸音材2号32K 厚50mm) ・ 行わない 仮設扉の種別 ※木製 (合板張り程度) ※ 設ける m ² 程度 ・ 設けない 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。 ・ 既存建物内の一部を使用する (場所) ・ 構内に新設する 規模 (m ²)
6	5 監督職員事務所 [2.4.1]	
	6 表示板	<p>※ 工事表示板</p> <p>※ 工事表示板</p> <p>御通行中の皆様へ</p> <p>記入要領 1. 書体は角ゴシックとする。 2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。</p>

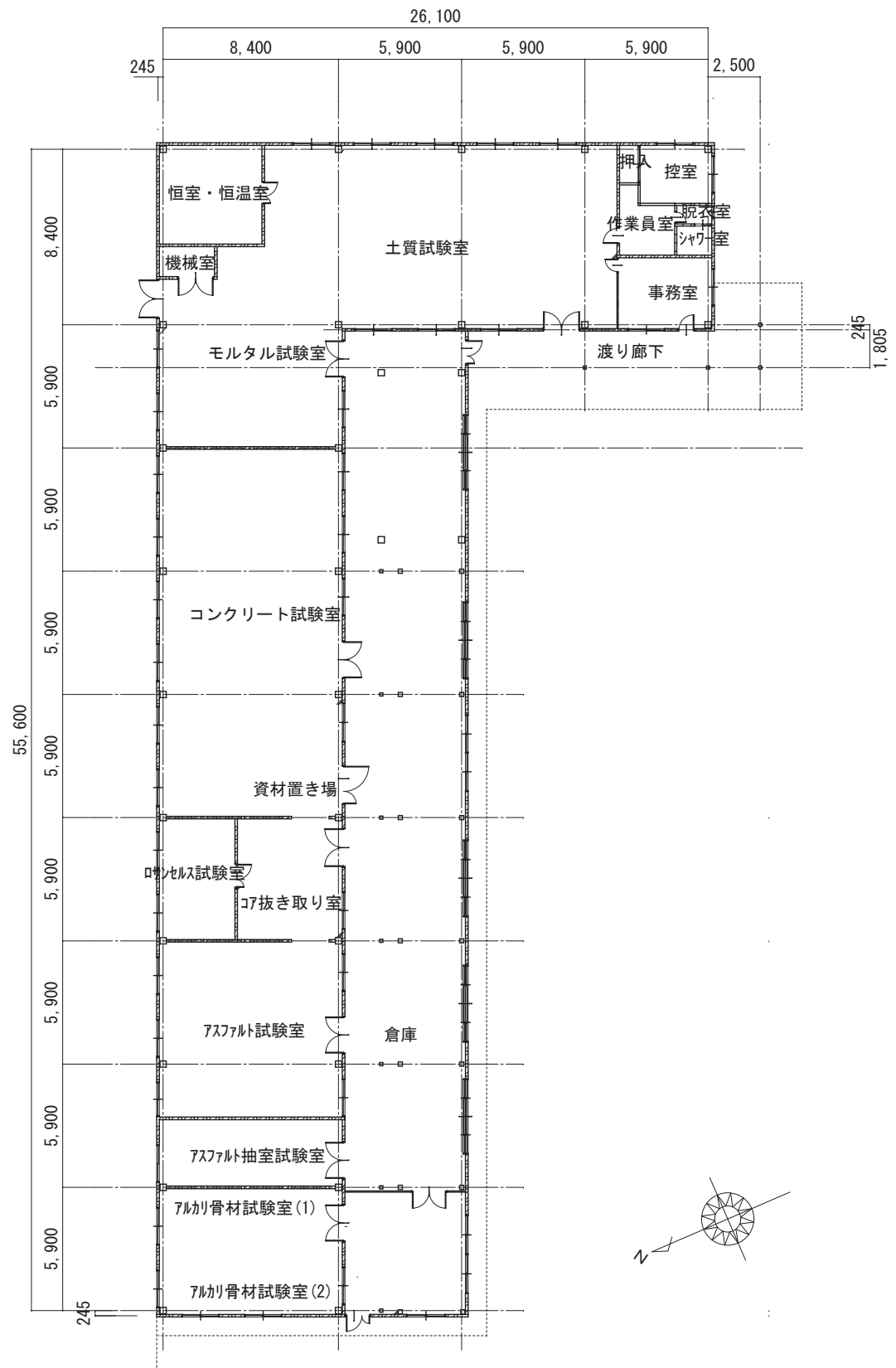
7	7 塗装改修工事	7 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)																																																																												
		8 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)																																																																												
9	9 工事用仮設物	9 工事現場のイメージアップ	構内既存の施設 ・ 利用できない ・ 利用できる																																																																												
		10																																																																													
1	1 材料 [7.1.3]	1 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放放量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする () 塗替え種別がR種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す 下地調整、素地ごしらえ																																																																												
		2 下地調整 [7.2.1~7]																																																																													
3	3 錆止め塗料塗り [7.4.2,3]	3 錆止め塗料塗りの種別	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地面の種別</th> <th colspan="2">塗替え</th> <th rowspan="2">新規</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>下地調整の種別</th> <th>素地ごしらえの種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R種</td> <td>・ C種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※R種</td> <td>・ B種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>重鉛めっき面</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル面、せっこうプラスター面</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ 行う</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、ALCパネル面 (DP以外)</td> <td>※R種</td> <td>・ B種</td> <td>・ 行う</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面、押出成形セメント板 (DP)</td> <td>※R種</td> <td>・ RC種 ・ A種 ・ B種</td> <td>・ 行う</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面、その他ボード面</td> <td>※R種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>	下地面の種別	塗替え		新規	ひび割れ部の補修	下地調整の種別	素地ごしらえの種別	木部	※R種	・ A種 ・ B種	—	—	鉄鋼面	※R種	・ C種	—	—	鉄鋼面 (DP)	※R種	・ B種	—	—	重鉛めっき面	※R種	・ A種 ・ B種	—	—	モルタル面、せっこうプラスター面	※R種	・ A種 ・ B種	・ 行う	・ 行う	コンクリート面、ALCパネル面 (DP以外)	※R種	・ B種	・ 行う	・ 行う	コンクリート面、押出成形セメント板 (DP)	※R種	・ RC種 ・ A種 ・ B種	・ 行う	—	せっこうボード面、その他ボード面	※R種	・ A種 ・ B種	—	—																													
		下地面の種別	塗替え		新規	ひび割れ部の補修																																																																									
下地調整の種別	素地ごしらえの種別																																																																														
木部	※R種	・ A種 ・ B種	—	—																																																																											
鉄鋼面	※R種	・ C種	—	—																																																																											
鉄鋼面 (DP)	※R種	・ B種	—	—																																																																											
重鉛めっき面	※R種	・ A種 ・ B種	—	—																																																																											
モルタル面、せっこうプラスター面	※R種	・ A種 ・ B種	・ 行う	・ 行う																																																																											
コンクリート面、ALCパネル面 (DP以外)	※R種	・ B種	・ 行う	・ 行う																																																																											
コンクリート面、押出成形セメント板 (DP)	※R種	・ RC種 ・ A種 ・ B種	・ 行う	—																																																																											
せっこうボード面、その他ボード面	※R種	・ A種 ・ B種	—	—																																																																											
4	4 仕上げ塗料塗り [7.5.2~7.12.2]	4 仕上げ塗料塗りの種類	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>屋外木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ クリアラッカー塗り (CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>重鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 重鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>重鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>重鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ クリアラッカー塗り (CL)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※B種</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)</td> <td>屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面 ・ モルタル面</td> <td>・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>コンクリート面</td> <td>・ A-1種</td> <td>・ A-1種</td> </tr> <tr> <td>上塗り等級 ○ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> <td>及び押出成形セメント板面、鉄鋼面</td> <td>・ B-1種 ・ C-1種 ○ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>屋内重鉛めっき面</td> <td>※A種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうプラスター面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ステイン塗り</td> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>※B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のみし止め ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをし止めシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のみし止め ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをし止めシーラーとする</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	屋外木部	※B種	※A種	屋内木部	※B種	※B種	・ クリアラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※B種	・ A種 ※B種	重鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	・ A種 ※B種	・ 重鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	重鉛めっき鋼面	※A種	・ A種 ※B種	重鉛めっき鋼面	※A種	・ A種 ※B種	・ クリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種	・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面 ・ モルタル面	・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種	○ 耐候性塗料塗り (DP)	コンクリート面	・ A-1種	・ A-1種	上塗り等級 ○ 1級 ・ 2級 ・ 3級	及び押出成形セメント板面、鉄鋼面	・ B-1種 ・ C-1種 ○ B種	・ つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※B種	・ A種	屋内鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内重鉛めっき面	※A種	・ A種 ・ B種	コンクリート面	※B種	・ A種 ・ B種	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	モルタル面	※B種	・ A種 ・ B種	せっこうプラスター面	※B種	・ A種 ・ B種	・ ステイン塗り	せっこうボード面	※B種	・ A種 ・ B種	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	※B種	・ A種 ・ B種	・ 木材保護塗料塗り (WP)	※B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のみし止め ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをし止めシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のみし止め ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをし止めシーラーとする		
		塗装の種類	塗装面			工程																																																																									
塗替え	新規																																																																														
・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	屋外木部	※B種	※A種																																																																												
	屋内木部	※B種	※B種																																																																												
・ クリアラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※B種	・ A種 ※B種																																																																												
	重鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	・ A種 ※B種																																																																												
・ 重鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	重鉛めっき鋼面	※A種	・ A種 ※B種																																																																												
	重鉛めっき鋼面	※A種	・ A種 ※B種																																																																												
・ クリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※B種	・ A種 ※B種																																																																												
	・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面 ・ モルタル面	・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種																																																																												
○ 耐候性塗料塗り (DP)	コンクリート面	・ A-1種	・ A-1種																																																																												
	上塗り等級 ○ 1級 ・ 2級 ・ 3級	及び押出成形セメント板面、鉄鋼面	・ B-1種 ・ C-1種 ○ B種																																																																												
・ つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※B種	・ A種																																																																												
	屋内鉄鋼面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																												
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内重鉛めっき面	※A種	・ A種 ・ B種																																																																												
	コンクリート面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																												
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	モルタル面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																												
	せっこうプラスター面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																												
・ ステイン塗り	せっこうボード面	※B種	・ A種 ・ B種																																																																												
	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	※B種	・ A種 ・ B種																																																																												
・ 木材保護塗料塗り (WP)	※B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種																																																																												
	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のみし止め ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをし止めシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のみし止め ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをし止めシーラーとする																																																																														



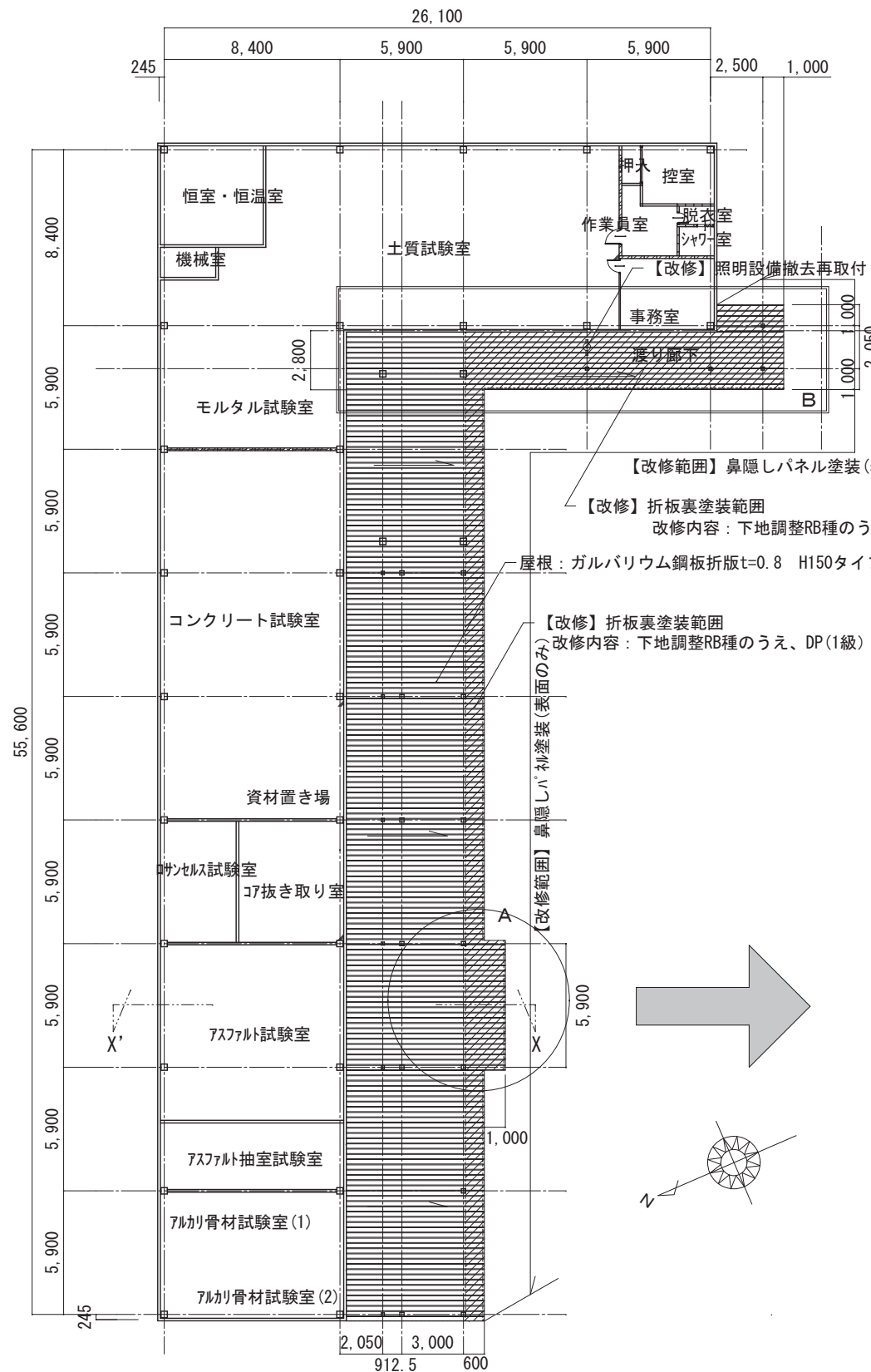


鳥取県
令和5年度
中部環境建築
局

工事名	鳥取県建設技術センター渡り廊下・試験棟屋根裏ほか改修工事	鳥	取	県	局長	参事	課長補佐	係長	合議	設計者	年度	図面番号
図面名	配置図、工事概要											

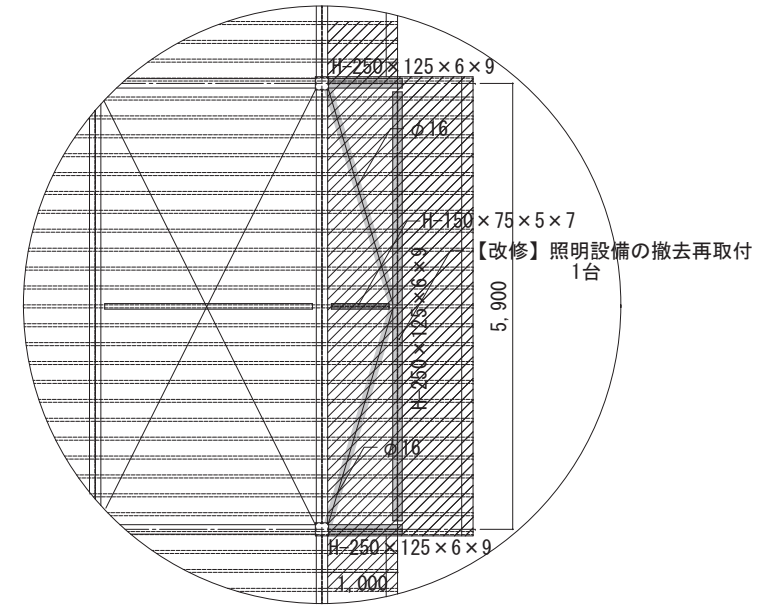
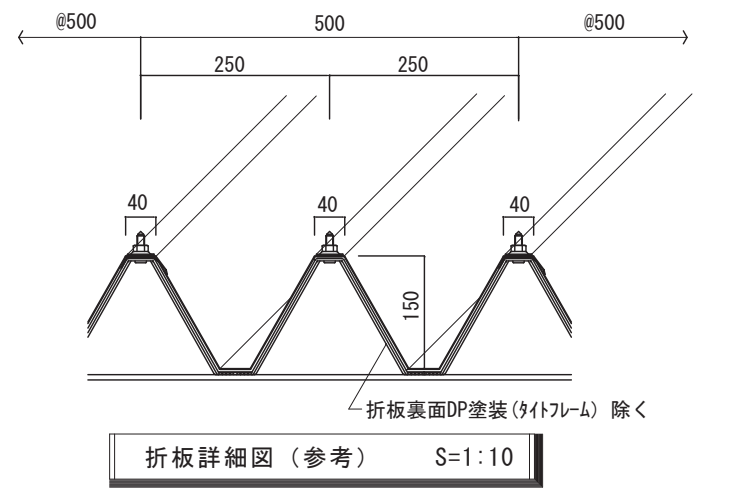


1階平面図 S=1:300



下屋根伏図 S=1:300

<下屋根伏図改修特記事項>
 ※は、折板裏の塗装改修部分を示す。
 ※は、鉄骨部塗装改修部分を示す。
 ※鼻隠しは、下地調整RB種のうえ、DP(1級) B種塗とする。



A部梁・天井伏図 S=1:100

<A部梁・天井伏図改修特記事項>
 ※は、折板裏の塗装改修部分を示す。
 ※は、鉄骨部塗装改修部分を示す。
 ※は、照明設備の撤去再取付 1台。
 ※は、下地調整 (RB種) を行った後DP(1級) 工程B種を行う。

工事名	鳥取県建設技術センター渡り廊下・試験棟屋根裏ほか改修工事
図面名	1階平面図、下屋根伏図、A部梁・天井伏図、折板詳細図(参考)



鳥 取 県

局長	参事	課長補佐	係長	合議	設計者	年度	図面番号
						R5	A-4

